

Electone
EL-200
OWNER'S MANUAL
取扱説明書

安全上のご注意



ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願い致します。

記号表示について

この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れあり キャビネットをあけるな		注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。 この機器の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。 点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または 巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。
---	-------------------------------------	---	--

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。上記の場合、△は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、△は注意が必要なことを示しています。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

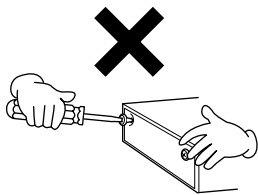
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



電源コード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



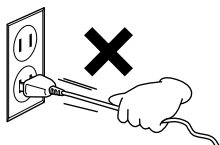
電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



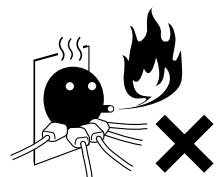
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。




タコ足配線をしない。

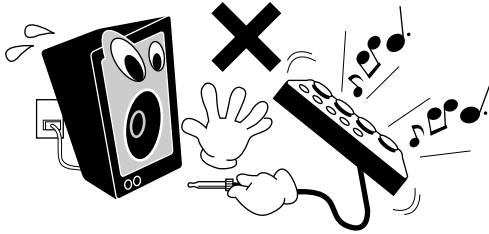
音質が悪化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。





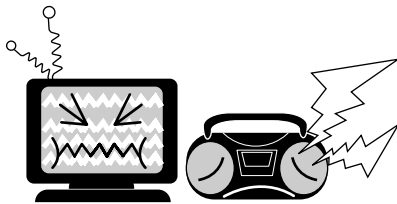
長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。






感電、ショート、発火などの原因になります。




- 
 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。感電または機器の損傷のおそれがあります。






- 
 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。
- 
 テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。




- 
 不安定な場所に置かない。機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- 
 本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。
- 
 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 
 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- 
 鍵盤のすき間から金属や紙片などを落とさない。感電、ショート、発火や故障などの原因になります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

- 
 本体を壁につけない。換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。壁から3cm以上離してください。
- 
 組み立てる前に、必ず本書または別紙の組み立て方の説明をよくお読みください。手順通りに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。
- 
 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。

イスについて

- 
 イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。このイスは楽器演奏用です。イスを遊び道具や踏み台にすると、イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。
- 
 イスには二人以上ですわらない。イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。
- 
 イスを長期間使用すると、イスのボルトがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

作成したデータの保存について

- 
 作成したデータはこまめにフロッピーディスクに保存する。作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、必ずフロッピーディスクに保存することをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

*この製品は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

*この製品は、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

はじめに

このたびは、ヤマハエレクトーンEL-200をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
EL-200は、長年にわたって培ってきたノウハウと最新の電子テクノロジーの粋を集めて完成されたエレクトーンです。ほとんどの機能は、体系的でわかりやすいパネル操作を通して設定できます。
EL-200のバラエティあふれる機能のすべてを使って演奏をお楽しみいただくために、是非この取扱説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。
また、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願いいたします。

EL-200の同梱品

取扱説明書	椅子
ELはじめてガイド	保証書
ELはじめてビデオ	愛用者カード
ELはじめてディスク	
3.5インチ2HDフロッピーディスク	



エレクトーンの電源を切ると、パネル上に設定されていたデータはすべて消去され、再び電源を入れると自動的に基本レジストレーションの1の設定になります。消去したくない設定は、電源を切る前に、レジストレーションメモリーに記憶させることをおすすめします。



「GMシステムレベル1」とは、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。

「GMシステムレベル1」に準拠した音源やソングデータには、このGMマークがついています。



「XG」とは、音色の配列に関する「GMシステムレベル1」をより拡張し、時代と共に複雑化、高度化していくコンピューター周辺環境にも対応させ、豊かな表現力とデータの継続性を可能とした音源フォーマットです。「XG」では、音色の拡張方式やエディット方式、エフェクト構成やタイプなどを規定して、「GMシステムレベル1」を大幅に拡張しました。

XGマークのついた市販ソングデータを、XGマークのついた音源で再生することによって、無数の拡張ボイスやエフェクト機能までも含めた壮大な演奏を手軽に楽しむことができます。

*この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

*市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

*「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

目次

EL-200 各部の名称	6
EL-200 操作パネル	6
その他	8
EL-200の主な特長	9
1 EL-200の基本操作	10
1 演奏までの準備	10
2 基本レジストレーションを使う	11
3 操作の流れ	12
2 ボイスセクション	13
パネルで音色を選ぶ	13
3 コントロールとエフェクト	17
1 リバープ	17
2 サステイン	17
4 リズム	18
1 パネルでリズムを選ぶ	18
2 リズム	21
3 キーボードパーカッション	22
5 レジストレーションメモリー	25
1 レジストレーションを記録する	25
2 レジストレーションを呼び出す	25
3 記録したレジストレーションをフロッピーディスクに保存する	26
4 レジストレーションシフト	27
6 ミュージックディスクレコーダー(MDR)	28
1 MDRのご使用の前に	28
2 ディスクをフォーマットする	30
3 録音する	31
4 レジストレーションなどのデータだけを記録する	37
5 レジストレーションなどのデータを読み込む	38
6 レジストレーションだけを入れ替える	38
7 再生する	39
8 その他の機能	41
7 フットスイッチ/ニーレバー	49
1 フットスイッチ	49
2 ニーレバー	49
8 付属端子	51
9 資料	52
MIDIについて	52
MIDIの接続	52
MIDIデータフォーマット	58
MIDIインプリメンテーションチャート	68
故障かな?と思ったら	70
EL-200 仕様	72
索引	73

1 EL-200の基本操作

2 ボイスセクション

3 コントロールとエフェクト

4 リズムとアカンパニメント

5 レジストレーションメモリー

6 ミュージックディスクレコーダー(MDR)

7 フットスイッチ/ニーレバー

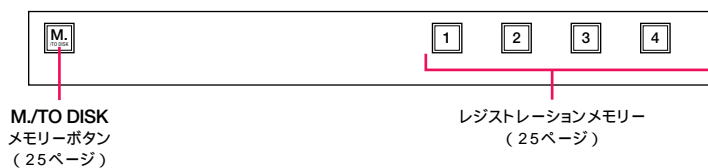
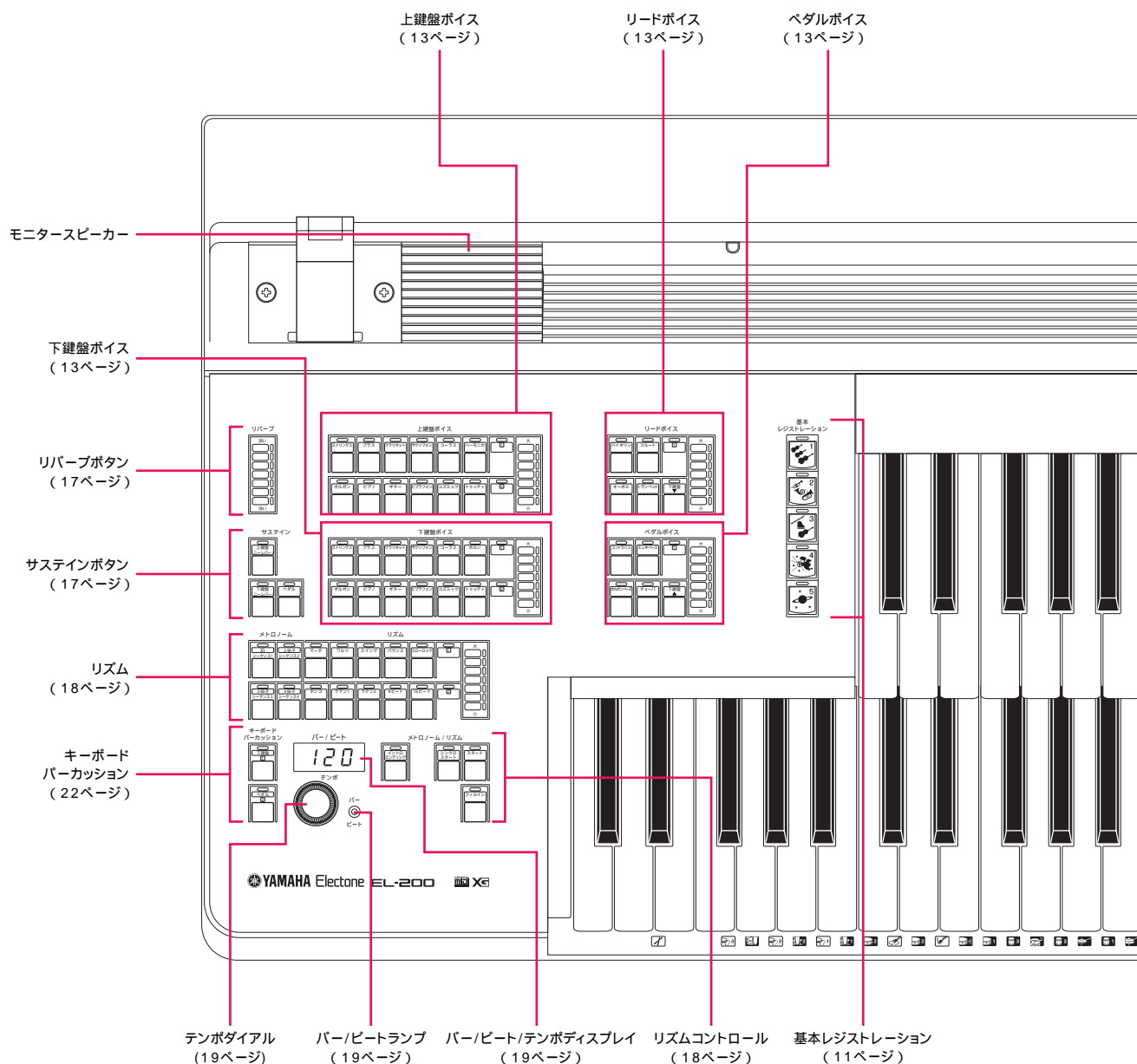
8 付属端子

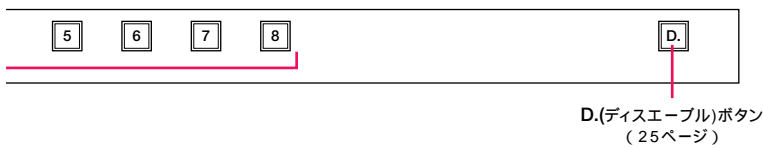
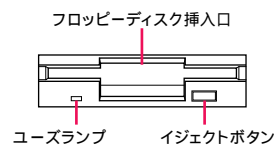
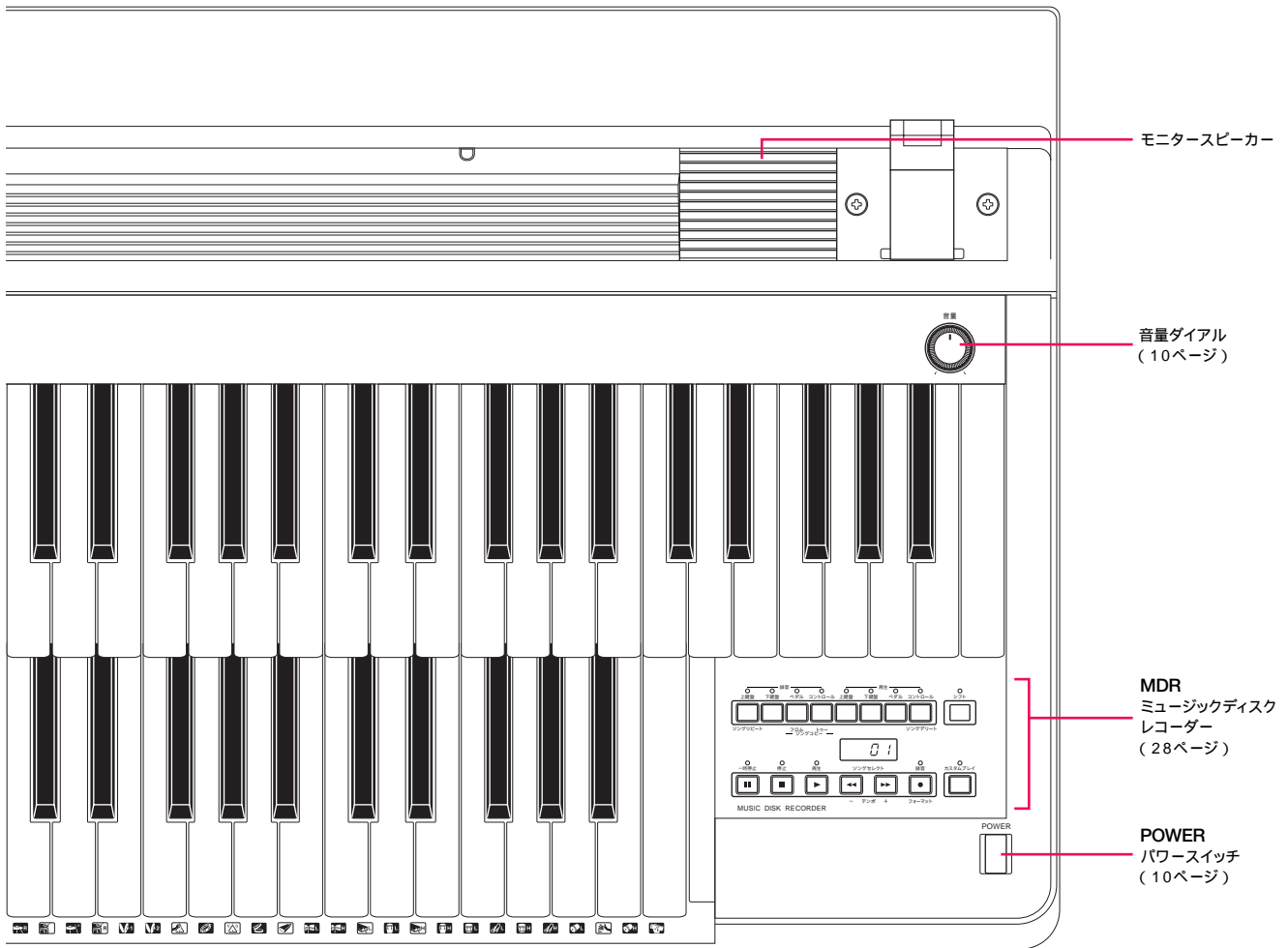
9 資料

LCDディスプレイ表示や機能用語については、73ページの索引をご利用いただくと便利です。

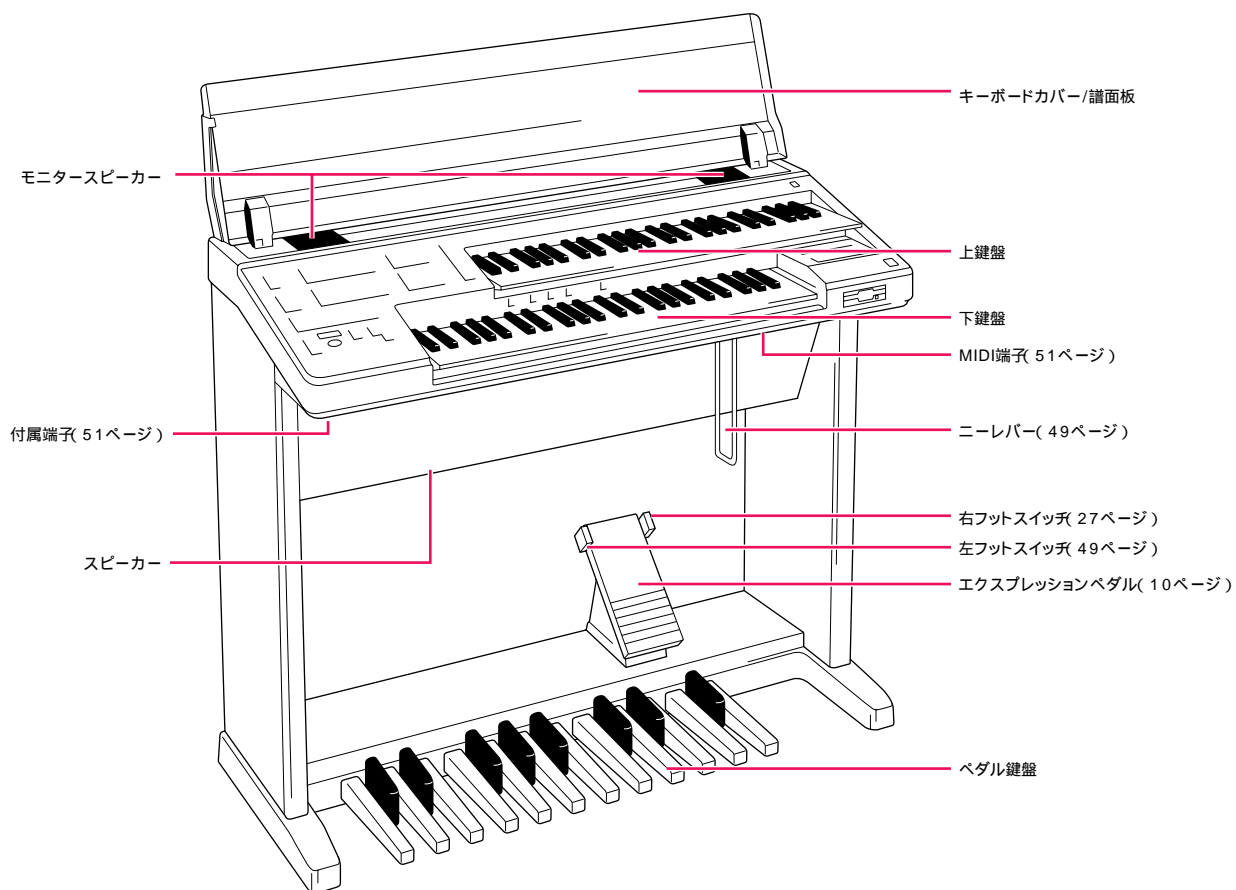
EL-200各部の名称

EL-200 操作パネル





その他



EL-200の主な特長

1 心の奥底まで表現できるナチュラルで多彩なサウンド

新AWMとFMの技術の粋を結集した最新の音源システムにより、ナチュラルで美しい本格的なサウンドが内蔵されています。全部で21種類(AWM/FM)の楽器音色を使って、多彩な演奏をお楽しみください。

2 豊かな表現力を生み出すタッチトーン

タッチトーン機能により、各楽器の持つ微妙なニュアンスや感情表現が可能です。

3 ハイクオリティ デジタル エフェクト

高品位なデジタルリバーブにより、音群ごとに広がり感や奥行き感をつけることができます。(17ページ)

4 ダイナミックなリズムサウンド/パーカッション サウンド

クオリティの高いAWM音源による10種類の多様なジャンルのリズムサウンドが、あなたの演奏をサポートします。(18ページ)

キーボードパーカッション機能により、ユニークな和楽器を加えた43種類と豊富な打楽器音を、鍵盤を使って演奏することができます。(22ページ)

5 本格的な演奏に欠かせないレジストレーション機能

さまざまな音楽ジャンルに合ったエレクトーン演奏のための設定が、基本レジストレーションやレジストレーションメニューで簡単に選ぶことができます。(11ページ)

また、自分でパネルで設定したセッティングを記録しておき、演奏中にワンタッチで呼び出すことができます。

6 データの活用に便利なMDR機能

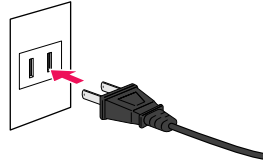
あなたの演奏を録音したり、レジストレーションデータを保存したりできる簡単で便利なMDR(ミュージックディスクレコーダー)機能が内蔵されています。さらに、ディスクコピーや異なったディスク間のソングコピー、市販のXGソングデータへの対応など、機能が充実しています。(28ページ)

EL-200の基本操作

INTRODUCTORY GUIDE

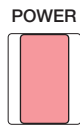
1 演奏までの準備

- 1 電源プラグは必ずAC100Vのコンセントに差し込みます。



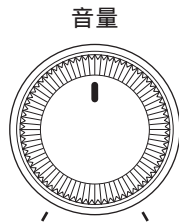
誤ってエアコン用などの200Vのコンセントに接続しないようご注意ください。

- 2 エレクトーンのPOWER(パワー)スイッチをオンにします。

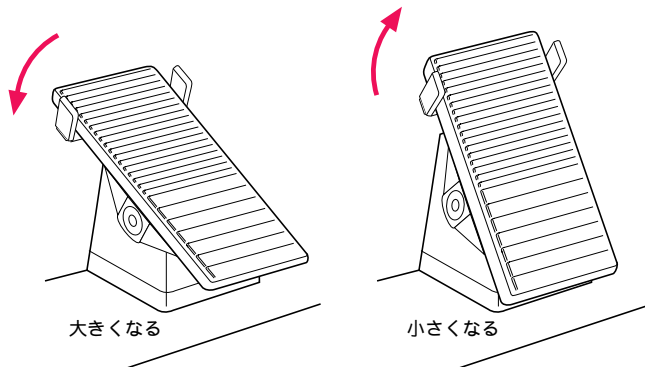


エレクトーンの電源を入れると、基本レジストレーション1が自動的に設定されます。

- 3 音量を設定します。
音量ダイヤルでは、エレクトーン全体の音量を調節します。



- 4 エクスプレッションペダルを右足で適度に踏み込みます。
エクスプレッションペダルでは、演奏中の音の強弱を調節します。このペダルが上がったままの状態では、音は出ません。



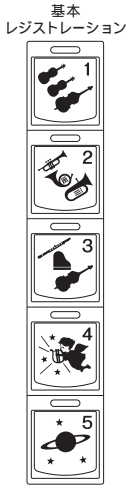
2 基本レジストレーションを使う

基本レジストレーションセクションの1～5ボタンには、5種類の基本的なレジストレーションがプリセットされています。この5種類のレジストレーションは、それぞれ幅広い音楽ジャンルの中の代表的なセッティングになっています。

基本レジストレーションを選ぶには

基本レジストレーションセクションの1～5ボタンのうち、いずれか一つを押すだけで、それぞれの上鍵盤と下鍵盤とペダル鍵盤のレジストレーションが自動的に設定されます。

エレクトーンの電源を入れると、必ず基本レジストレーション1が選択されます。



	基本 レジストレーション1	基本 レジストレーション2	基本 レジストレーション3	基本 レジストレーション4	基本 レジストレーション5
Upper Keyboard Voice 1 上鍵盤	Strings ストリングス	Brass ブラス	Flute フルート	Cosmic コスミック	Synth. Brass シンセブラス
Lower Keyboard Voice 1 下鍵盤	Strings ストリングス	Horn ホルン	Piano ピアノ	Cosmic 2 コスミック2	Cosmic 3 コスミック3
Pedal Voice 1 ペダル鍵盤	Contra Bass コントラバス	Tuba チューバ	Contra Bass コントラバス	Cosmic 2 コスミック2	Synth. Bass シンセベース



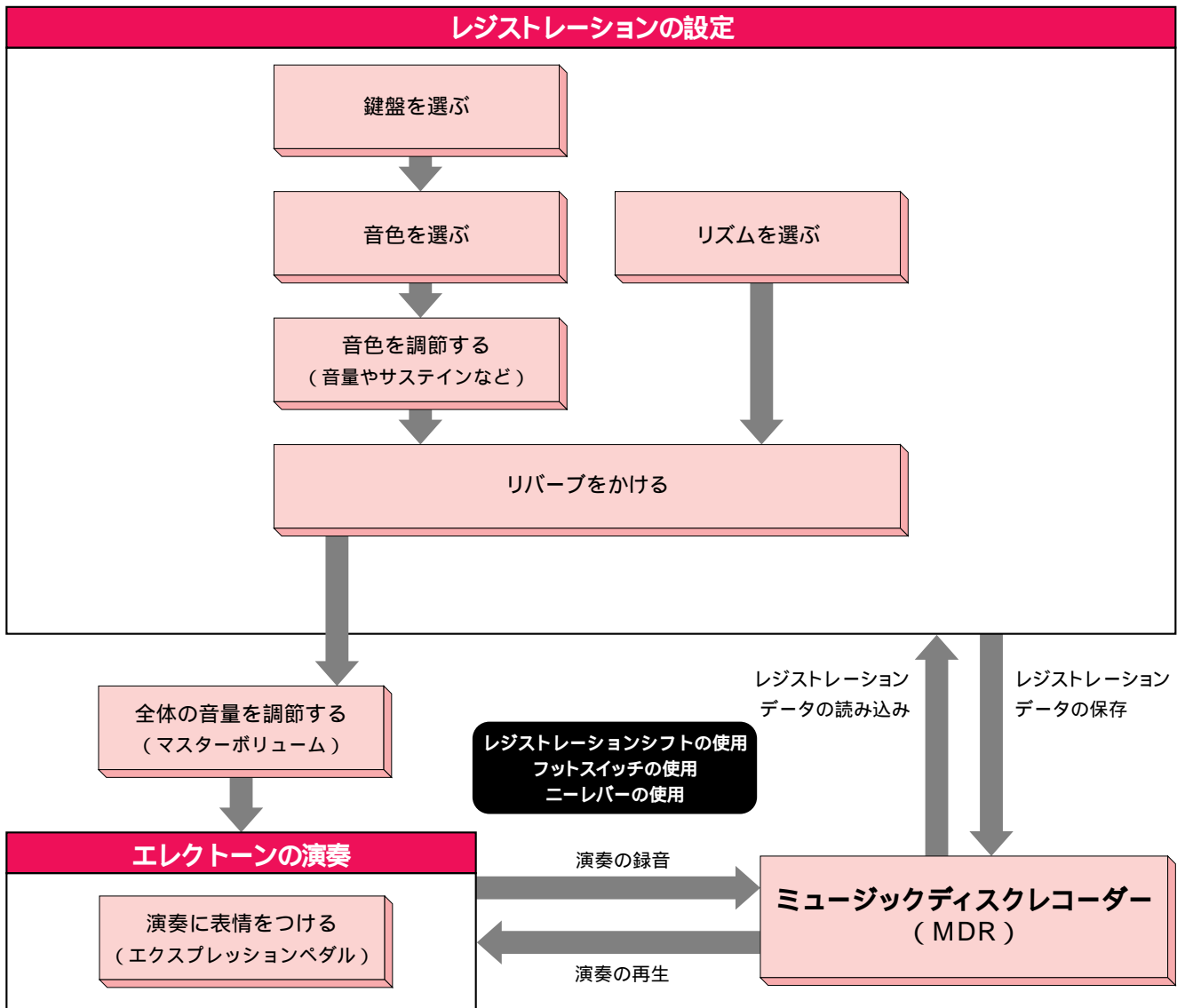
NOTE
左の表には、本体で選択できない音色が含まれています。

作成したデータを消去したくない場合は、電源を切る前に必ずレジストレーションメモリーボタンに記録してください。(25ページをご参照ください。)ただし、ある条件では、電源を切る前の状態に戻すことができます。(電源を切る前の状態に戻すには、27ページをご参照ください。)

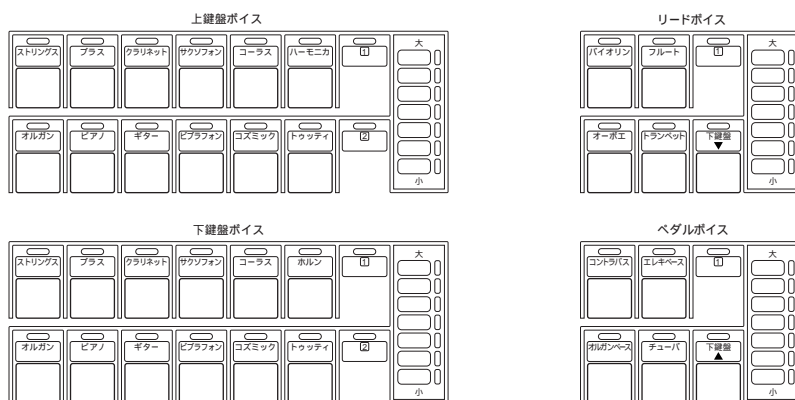


エレクトーンの電源を切ると、パネル上で設定していたデータはすべて消去され、再び電源を入れると、自動的に基本レジストレーション1の設定が現れます。

3 操作の流れ



EL-200には、全部で21種類にも及び多彩でナチュラルな楽器音色が装備されています。全音色は、原則として、4つの音群に分かれています。上鍵盤には上鍵盤ボイス、リードボイスの2つの音群、下鍵盤には下鍵盤ボイス、ペダル鍵盤にはペダルボイスの音群があります。それぞれの音群で、個々に音色の設定やボリューム/サステインの調整をすることができます。



パネルで音色を選ぶ

音色の選び方は、どの鍵盤でもどの音群でも共通です。ここでは上鍵盤ボイスの音色を選ぶ例を使って説明します。

- 1 パネル上の上鍵盤セクションの中のいずれかのボイスボタンを押します。



たとえば、オルガンボタンを押すと、上鍵盤ボイスには、オルガンの音色が設定されます。

- 2 同じ手順で、上鍵盤ボイス、リードボイス、下鍵盤ボイス、ペダルボイスの音も選択します。



NOTE
各音群のボイスボタンの右側にある1または2のランプは、EL-900/700/500/400などの上位機種で作ったレジストレーションディスクを使用した場合や、基本レジストレーション3、4、5を選んだ場合に点灯することがあります。(47ページもご参照ください)。

3

次に、それぞれの音群の音量を設定します。

それぞれの音群の右端にあるボリュームコントロールを使用します。
0～6の7段階になっています。



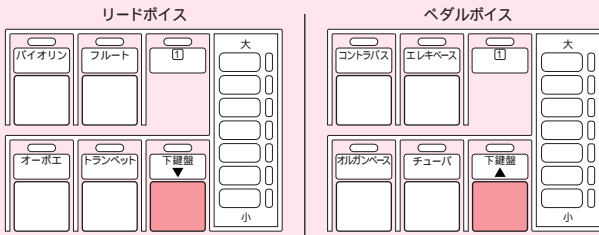
各鍵盤を実際に弾きながら、各音群の音量バランスを調整します。



NOTE
リードボイスの演奏やペダル鍵盤での演奏では、複数の鍵盤を同時に押しても、押された鍵盤の一番高い音が一つだけ発音されます(単音/高音優先)。

TO LOWER(トゥーロワー)機能について

通常、上鍵盤で演奏するためのリードボイスやペダル鍵盤で演奏するためのペダルボイスの音色は、それぞれの音群内の下鍵盤ボタンを押すと、下鍵盤で演奏することができます。



下鍵盤ボタンがオンになっている間は、上鍵盤/ペダル鍵盤を弾いても、リードボイス/ペダルボイスは発音されません。



エレクトーンの電源を切ると、パネル上で設定していたデータはすべて消去され、再び電源を入れると、自動的に基本レジストレーション1の設定が現れます。

データを消去したくない場合は、電源を切る前に必ずレジストレーションメモリーボタンに記録してください。(25ページをご参照ください。)ただし、ある条件では、電源を切る前の状態に戻すことができます。(電源を切る前の状態に戻すには、27ページをご参照ください。)

ボイスリスト

パネル上のボイスボタンを使って選ぶことができる音色のリストです。

ボイス名	音群	プリセット		イメージ
		フィート	エフェクト	
ストリングス	上鍵盤/下鍵盤	8'	-	標準的な大編成のストリングスアンサンブル。
バイオリン	リード	8'	-	いろいろなジャンルに使えるバイオリン。
コントラバス	ペダル	8'	-	標準的なコントラバス。
ブラス	上鍵盤/下鍵盤	8'	-	標準的なトランペット+トロンボーンアンサンブル。どちらかといえばクラシック向き。
ホルン	下鍵盤	8'	-	標準的なタイプ。遠近感の出やすいクラシック向きの音色。
トランペット	リード	8'	-	標準的なタイプ。クラシック向き。
チューバ	ペダル	16'	-	チューバ。ソロとしても使える。
フルート	リード	8'	-	標準的なフルートソロ。
オーボエ	リード	8'	-	甘めのオーボエ。
クラリネット	上鍵盤/下鍵盤	8'	-	標準的なクラリネット。
サクソフォン	上鍵盤/下鍵盤	U16'/L8'	-	標準的なタイプ。アルトサクソフォンのサウンド。
トウティ	上鍵盤/下鍵盤	8'	-	ストリングスユニゾン+木管アンサンブル。
コーラス	上鍵盤/下鍵盤	8'	-	女性 Ah。
ハーモニカ	上鍵盤	8'	-	標準的なタイプ。
オルガン	上鍵盤/下鍵盤	8'	-	小規模なパイプオルガン。8'。
オルガンベース	ペダル	8'	-	8'系を中心としたコンビネーションオルガンベース。
ピアノ	上鍵盤/下鍵盤	8'	-	マルチユースのグランドピアノ。
ギター	上鍵盤/下鍵盤	U16'/L8'	-	フォークギター。スチール弦。
ビブラフォン	上鍵盤/下鍵盤	8'	-	ビブラフォン。
エレキベース	ペダル	8'	-	マルチユースのフィンガードベース。
コズミック	上鍵盤/下鍵盤	4'	-	マルチユースなディケイタイプ。基本レジスト4のUK。

NOTE

EL-200は、パネル音色を含めて全部で173種類の再生用音色を内蔵しています。したがって、EL-500/400などの上位機種で作ったソングデータやレジストレーションディスクによる音色選択にも完全に対応することができ、正しい音色で再現することができます。パネル音色を含めた173種類の音色については、16ページをご参照ください。

再生できるボイスリスト

EL-200で再生することのできる音色のリストです。

パネルボタンで選べる音色には がついています。

カテゴリー	ボイス名	
上鍵盤/下鍵盤 ストリングス	ストリングス1	
	ストリングス2	
	ストリングス3	
	ストリングス4	
	ストリングス5	
	ストリングス6	
	ストリングス7	
	ピチカート	
	トレモロストリングス	
	シンセストリングス1	
	シンセストリングス2	
	シンセストリングス3	
	リード バイオリン	バイオリン1
バイオリン2		
バイオリン3		
バイオリン4		
バイオリン5		
ピチカートバイオリン		
ペダル コントラバス	チェロ	
	コキウ	
	コントラバス1	
	コントラバス2	
	コントラバス3	
上鍵盤/下鍵盤 ブラス	ピチカートベース	
	アップライトベース	
	ブラス1	
	ブラス2	
	ブラス3	
	ブラス4	
	ブラス5	
	シンセブラス1	
	シンセブラス2	
	シンセブラス3	
下鍵盤 ホルン	ホルン1	
	ホルン2	
	ホルン3	
	ホルン4	
	ミュートホルン	
リード トランペット	トランペット1	
	トランペット2	
	トランペット3	
	トランペット4	
	トランペット5	
	トランペット6	
	ミュートトランペット	
	トロンボーン1	
	トロンボーン2	
	ミュートトロンボーン	
	フリューゲルホルン	
	ユーフォニウム	
	ペダル チューバ	チューバ
		ティンパニ
ティンパニロール		
リード フルート	フルート1	
	フルート2	
	ピッコロ	
	ヨコブエ	
	リコーダー	
	オカリナ	
	パンフルート	
	シャクハチ	
	ホイッスル	
	リード オーボエ	オーボエ1
		オーボエ2
イングリッシュホルン		
バスーン1		
バスーン2		

ページ/音群	ボイス名
上鍵盤/下鍵盤 クラリネット	クラリネット1
	クラリネット2
	バスクラリネット
	シンセクラリネット1
	シンセクラリネット2
	サクソフォン1
上鍵盤/下鍵盤 サクソフォン	サクソフォン2
	ソプラノサクソ
	サクソEns. 1
	サクソEns. 2
	シンセサクソ
	シンセリード1
	シンセリード2
	シンセリード3
	シンセリード4
	シンセリード5
上鍵盤/下鍵盤 トウッティ	トウッティ1
	トウッティ2
	トウッティ3
	トウッティ4
	トウッティ5
	トウッティ6
	トウッティ7
上鍵盤/下鍵盤 コーラス	コーラス1
	コーラス2
	コーラス3
	コーラス4
	コーラス5
上鍵盤 ハーモニカ	ボーカル
	ハーモニカ1
上鍵盤/下鍵盤 オルガン	ハーモニカ2
	オルガン1
	オルガン2
	オルガン3
	オルガン4
	ジャズオルガン1
	ジャズオルガン2
	ジャズオルガン3
	ジャズオルガン4
	ポップオルガン1
	ポップオルガン2
	シアターオルガン1
	シアターオルガン2
	アコーディオン
バンドネオン	
ペダル オルガンベース	オルガンベース1
	オルガンベース2
	オルガンベース3
	オルガンベース4
上鍵盤/下鍵盤 ピアノ	ピアノ1
	ピアノ2
	ホンキートンク
	エレピ1
	エレピ2
	エレピ3
	ハーブシコード
	クラビ
クラビコード	

ページ/音群	ボイス名
上鍵盤/下鍵盤 ギター	ギター1
	ギター2
	ギター3
	12ゲンギター
	バンジョー
	マンドリン
	シタール
	シャミセン
	エレキギター1
	エレキギター
	ミュートギター
	ディストーションGt
	ハーブ
スチールギター	
コト	
タイショウゴト	
上鍵盤/下鍵盤 ビブラフォン	ビブラフォン
	グロックン
	チェレスタ
	オルゴール
	マリンバ
	シロフォン
	チャイム
	シンセチャイム
	スチールドラム
	エレキベース1
ペダル エレキベース	エレキベース2
	エレキベース3
	エレキベース4
	シンセベース1
	シンセベース2
	シンセベース3
上鍵盤/下鍵盤 コズミック	コズミック1
	コズミック2
	コズミック3
	コズミック4
	コズミック5
	コズミック6
	コズミック7
	コズミック8
	コズミック9
	コズミック10
	コズミック11
	コズミック12
	コズミック13
	コズミック14
	コズミック15
コズミック16	

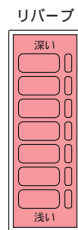
2
ボイスセクション

EL-200では、選択した音色にリバーブやサステインを加えて音色を調整することができます。

1 リバーブ

リバーブによって、広い部屋やコンサートホールで演奏しているような、音が響きわたる効果を得ることができます。リバーブは楽器全体にかかります。

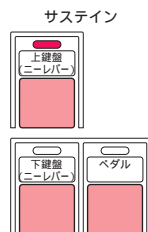
パネル上の左端にあるリバーブボタンを使用して、リバーブ量を調整します。0～6の7段階になっています。



2 サステイン

サステインは、鍵盤から指を離れた後に音に余韻を与える効果です。上鍵盤/下鍵盤/ペダル鍵盤ごとにオン/オフすることができます。

パネル上の左端にあるサステインボタンを押すと、ボタンの真上のLEDが点灯しサステインがオンの状態であることを示します。もう一度押すことで、サステインはオフになります。



サステインはリードボイスにはかかりません。



上鍵盤/下鍵盤では、サステインボタンがオンの状態の場合は、二レバー機能を使ってサステインをかけることができます。(49ページをご参照ください。)



サステインボタンはオン/オフスイッチです。演奏前に、オンの状態になっているか必ず確認しましょう。

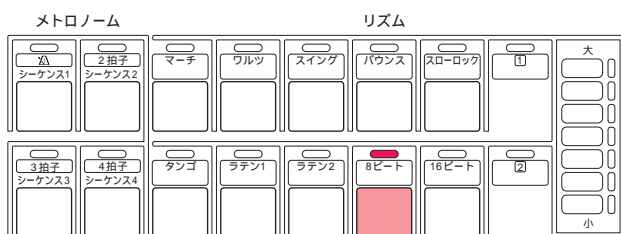
リズムセクションは個々の楽器音を再現したボイスの音色と同じように、実際のドラムやパーカッションサウンドを再現したものを内蔵しており、迫真のリズムサウンドが得られます。また、下鍵盤やペダル鍵盤を使って、リアルタイムでのパーカッション演奏をお楽しみいただけます(キーボードパーカッション機能)。

1 パネルでリズムを選ぶ

リズムもボイスと同じように、パネル面のリズムボタンを押すことにより、10種類のさまざまなリズムパターンを選択することができます。

(1)リズムを選びスタートさせるには

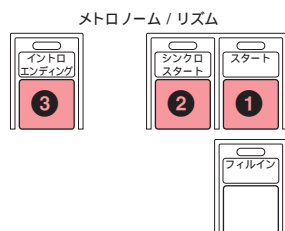
- 1 パネル面左のリズムセクションで、使用したいリズムの属するリズムボタン(またはメトロノームボタン)を押します。



NOTE

リズムボタンの右側にある1または2のランプは、EL-900/700/500/400などの上位機種で作ったレジストレーションディスクを使用した場合に点灯することがあります。通常EL-200を単体で使用している場合は点灯することはありません(47ページもご参照ください)。

- 2 リズムセクションの下のスタートボタンを押します。
3通りのスタート方法があります。

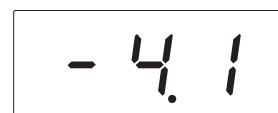


- 1 **スタート**
通常のスタートボタンです。もう一度押すと、リズムはストップします。
- 2 **シンクロスタート**
このボタンを押すと、リズムはスタンバイの状態になります。下鍵盤かペダル鍵盤で演奏を始めると同時に、リズムがスタートします。
- 3 **イントロ、エンディング**
このボタンを使うことで、通常のリズムが始まる前に、自動的に最大8小節までのリズムのイントロを入れることができます。
最初にこのボタンを押して、上記①か②の方法でリズムをスタートさせます。

イントロが演奏されている間、リズムセクションのバー/ビートのLED画面表示はイラストにあるように選択したリズムの第1小節目まで、マイナス表示で逆にカウントします。

また、リズムパターンが演奏されている時にこのボタンを押すと、自動的に最大8小節までのエンディングパターンが入って、リズムは終了します。

バー/ビート



NOTE

フットスイッチを使って、リズムをスタートさせたりストップさせたりすることができます。(詳しくは、49ページをご参照ください。)

タクト機能について

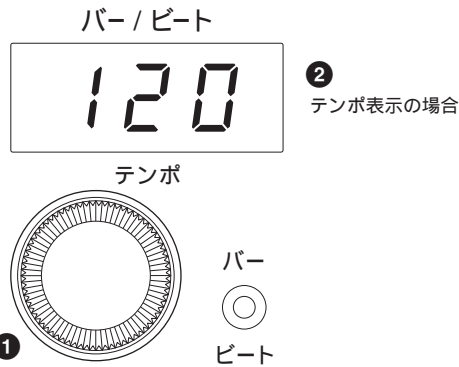
イントロ、エンディングボタンを押しながら、リズムのスタートボタンを押すと、自動的に1小節の拍打ちをして(タクト機能)、演奏を始めるためのキューを出します。

- 3** リズムセクションの右のボリュームボタンで音量を調節します。
音量は0～6の7段階になっています。



エレクトーンの電源を入れたときは、リズムボリュームは0に設定されています。

- 4** リズムセクションの下のテンポダイヤルを回して、リズムの速さを設定します。



① テンポダイヤル

リズムの速さを調節します。時計回りに回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。

② テンポ表示[バー/ビート表示]

設定されているリズムの速さ(テンポ)を表示します。表示されている数字は、メトロノームと同じように1分間の拍数を表します。

設定範囲：40～240

リズムがスタートすると、自動的にテンポ表示からバー/ビート表示に切り替わります。



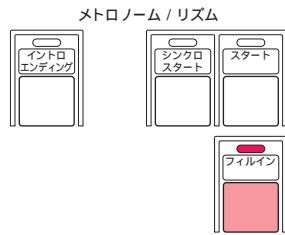
リズムの演奏中でもテンポダイヤルを回すと、瞬間的にテンポ表示に切り替わります。

(2)フィルインを使うには

フィルインは、リズムパターンにブレイクを入れたり、リズムにアクセントを付けて変化に富んだ演奏にします。

1 リズムを選択しスタートさせます。

2 リズムを使用してエレクトーンを演奏しながら、フィルインを入れたいリズムの切れ目でスタートボタンの下のフィルインボタンを押します。



フィルインをイントロとして使うことができます。まずフィルインボタンを押します。そしてスタートボタンまたはシンクロスタートボタンを押します。これで、フィルインパターンが最初に入って通常のリズムが始まります。



フィルインパターンを部分的に使用することもできます。リズムのバリエーションとして、フィルインパターンの1小節未満を(最後の1~2拍だけを)演奏させるわけです。フィルインを入れたい拍数のところで、フィルインボタンを押してください。

メトロノーム機能について

4つのメトロノームボタン(シーケンス1~4)には、それぞれメトロノーム音(アクセントなし、2拍子、3拍子、4拍子)が割り当てられています。使い方はパネルのリズムと同様です。いずれかのメトロノームボタンを押して拍子を選び、スタートボタンを押してスタートさせます。テンポや音量調節も同様に行います。パネルのリズムに戻すには、いずれかのリズムボタンを押します。



市販の曲集や他の機種で作られたディスクで、リズムシーケンスのプログラムを持ったものを再生すると、4つのメトロノームボタンにはリズムシーケンスが読み込まれ、シーケンスボタンとして機能するようになります。リズムシーケンスについては24ページをご参照ください。

なお、シーケンスボタンの機能を元のメトロノームボタンの機能に戻したい場合は、基本レジストレーションの1~5のいずれかのボタンを押してください。

2 リズム

下記の通り、リズムは全部で10パターンあります。

マーチ	タンゴ
ワルツ	ラテン1
スイング	ラテン2
バウンス	8ビート
スローロック	16ビート



EL-200は、パネルのリズムボタンで選べる10種類のリズムを含めて全部で66種類の再生用リズムパターンを内蔵しています。したがって、EL-500/400などの上位機種で作ったソングデータやレジストレーションディスクによるリズム選択にも完全に対応することができ、正しい音色/パターンで再現することができます。パネルのリズムを含めた66種類のパターンについては、下記をご参照ください。

再生できるリズムメニュー

EL-200で再生することのできるリズムメニューです

パネルボタンで選べるリズムには がついています。

カテゴリー	リズム名
マーチ	マーチ1
	マーチ2
	マーチ3
	ボルカ1
	ボルカ2
	カントリー1
	カントリー2
	ブロードウェイ
	バロック
ワルツ	ワルツ1
	ワルツ2
	ワルツ3
	ワルツ4
	ワルツ5
	ジャズワルツ1
	ジャズワルツ2
	ジャズワルツ3
	ボレロ
スイング	スウィング1
	スウィング2
	スウィング3
	スウィング4
	スウィング5
	スウィング6
	ジャズバラード
	ディキシーランド1
	ディキシーランド2
	レガエ1
レガエ2	

カテゴリー	リズム名
スローロック	スローロック1
	スローロック2
	スローロック3
タンゴ	01:タンゴ1
	タンゴ2
	タンゴ3
ラテン1	01:チャチャ
	ルンバ
	ビギン
	マンボ
	サルサ
ラテン2	01:サンバ1
	サンバ2
	サンバ3
	ボサノバ1
	ボサノバ2
	ボサノバ3
	8ビート
	8ビート2
	8ビート3
	8ビート4
	8ビート5
	ダンスポップ1
	ダンスポップ2
	ダンスポップ3
	ダンスポップ4
16ビート	01:16ビート1
	16ビート2
	16ビート3
	16ビート4
	16ビート5
	ファンク1
	ファンク2
	ファンク3

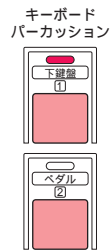
カテゴリー	リズム名
ユーザーリズム	ユーザー1-A
	ユーザー1-B
	ユーザー1-C
	ユーザー1-D
	ユーザー2-A
	ユーザー2-B
	ユーザー2-C
	ユーザー2-D
	ユーザー3-A
	ユーザー3-B
	ユーザー3-C
	ユーザー3-D
	ユーザー4-A
	ユーザー4-B
	ユーザー4-C
	ユーザー4-D
	ユーザー5-A
	ユーザー5-B
	ユーザー5-C
	ユーザー5-D
	ユーザー6-A
	ユーザー6-B
	ユーザー6-C
	ユーザー6-D
	ユーザー7-A
	ユーザー7-B
	ユーザー7-C
	ユーザー7-D
	ユーザー8-A
	ユーザー8-B
	ユーザー8-C
	ユーザー8-D

3 キーボードパーカッション

全部で43種類のドラム系やラテンパーカッション系、そして和太鼓などのバラエティあふれる打楽器音が、下鍵盤とペダル鍵盤を使ってリアルタイムで楽しめます。

1 まず、下鍵盤/ペダル鍵盤のボイスメニュー音色の音量を0にします。

2 パネル左端のキーボードパーカッションセクションの下鍵盤/1かペダル/2のボタンを押します。



3 次に音量を設定します。
キーボードパーカッションの音量はリズムと共通になっています。



4 下鍵盤/ペダル鍵盤の鍵盤をたたいて、キーボードパーカッションを試してみましょう。キーボードパーカッションのアサインについては、次の表をご参照ください。

キーボードパーカッション

下鍵盤にアサインされている楽器(43)

オーガストラスネアドラム(Snare Brush Shot 1)
 スネアブラシシュット1(Snare Brush Shot 1)
 スネアブラシシュロール(Snare Brush Roll)
 トライアングルオーパン(Triangle Open)
 トライアングルクローズ(Triangle Closed)
 ウッドブロックハイ(Wood Block High)
 ウッドブロックロー(Wood Block Low)
 カウベル1(Cowbell 1)
 ハンドクラップ(Hand Clap)
 アゴゴハイ(Agogo High)
 アゴゴロー(Agogo Low)
 タム1(Tom 1)
 タム2(Tom 2)
 タム3(Tom 3)
 オルケストラスネアドラム(Orchestra Snare Drum)
 シェーカー(Shaker)
 クイーカー(Cuica High)
 クイーカロー(Cuica Low)
 ボンゴハイ(Bongo High)
 ボンゴロー(Bongo Low)
 テンバールハイ(Timbale 1 High)
 テンバールロー(Timbale 1 Low)
 コンガロー(Conga Low)
 コンガハイ(Conga High)
 チェンバール(Castanet)
 タンバリン(Tambourine)
 カリタネット(Castanet)
 クラッシュシンバル1(Crash Cymbal 1)
 ライドシンバル1(Ride Cymbal 1)
 オータストンバル1(Orchestra Cymbal 1)
 オータストンバル2(Orchestra Cymbal 2)
 ハイハットクローズ(Hihat Closed)
 ハイハットオープン(Hihat Open)
 ハイハットリム1(Hihat Rim 1)
 ハイハットリム2(Hihat Rim 2)
 ハイハットリム3(Hihat Rim 3)
 スネアドラムライト(Snare Drum Light)
 スネアドラムヘビー(Snare Drum Heavy)
 スネアドラムリバーブ1(Snare Drum Reverb 1)
 スネアドラムリバーブ2(Snare Drum Reverb 2)
 スネアドラムリバーブ3(Snare Drum Reverb 3)
 バスドラムライト(Bass Drum Light)
 バスドラムヘビー(Bass Drum Heavy)
 バスドラムリバーブ1(Bass Drum Reverb 1)
 シンセタム1(Synth. Tom 1)
 シンセタム2(Synth. Tom 2)
 シンセタム3(Synth. Tom 3)
 シンセタム1(Synth. Tom 1)
 シンセタム2(Synth. Tom 2)
 シンセタム3(Synth. Tom 3)
 シンセタム1(Synth. Tom 1)
 シンセタム2(Synth. Tom 2)
 シンセタム3(Synth. Tom 3)

ペダル鍵盤にアサインされている楽器(18)

スネアブラシシュット1(Snare Brush Shot 1)
 スネアブラシシュロール(Snare Brush Roll)
 タム1(Tom 1)
 タム2(Tom 2)
 タム3(Tom 3)
 シンセタム1(Synth. Tom 1)
 シンセタム2(Synth. Tom 2)
 シンセタム3(Synth. Tom 3)
 シンセタム1(Synth. Tom 1)
 シンセタム2(Synth. Tom 2)
 シンセタム3(Synth. Tom 3)
 シンセタム1(Synth. Tom 1)
 シンセタム2(Synth. Tom 2)
 シンセタム3(Synth. Tom 3)

リズムシーケンスについて

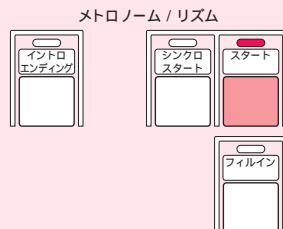
EL-700/500などのリズム シーケンス プログラム機能を持つエレクトーンを使って、ユーザーパターンやプリセットパターンの再生順序(シーケンス)を1小節単位でプログラムしたものを、リズムシーケンスと呼びます。

EL-200にはリズムシーケンスのプログラム機能はありませんが、フロッピーディスクに記録されたリズムシーケンスを、次の手順でメトロノームボタン(シーケンス1~4ボタン)に読み込み、再生することができます。

1. EL-200のMDRに、リズムシーケンスのデータが記録されたフロッピーディスクを挿入します。リズムシーケンスのデータはレジストレーションデータ(33ページ)の一部として記録されています。
2. 任意のソングナンバーを指定して、MDRの再生ボタンを押し、目的のレジストレーションデータを読み込みます。これで、リズムシーケンスのデータがメトロノームボタン(シーケンス1~4ボタン)にセットされました。
3. メトロノームのシーケンス1~4ボタンを押します。押したシーケンスボタンのランプが点灯します。



4. リズムセクションのスタートボタンを押して、リズムを再生します。



NOTE
シーケンス1~4ボタンは同時に複数押しておくことができ、押されたシーケンスボタンのシーケンスは自動的に連続再生されます。



NOTE
初期設定(工場出荷時の状態)では、シーケンス1~4ボタンにはメトロノーム音が割り当てられています。(20ページ)



NOTE
MDRを使ってリズムシーケンスを読み込むと、初期設定で割り当てられていたメトロノームの設定は書き換えられます。基本レジストの1~5のいずれかのボタンを押すと「ピッ」という音が鳴り、メトロノームに戻ります。

レジストレーションメモリー

REGISTRATION MEMORY

レジストレーションメモリーは、パネルで設定したセッティングを記録しておき、演奏中にボタンを押すだけでセッティングを呼び出すことができる機能です。

ほとんどの機能の設定をメモリーすることが可能です。



1 レジストレーションを記録する

新しくつくったレジストレーションを、レジストレーションメモリーのボタンに記録します。レジストレーションメモリーに記録されたレジストレーションは、フロッピーディスクに保存することもできます。

1 まず、記録したいレジストレーションをつくります。

2 レジストレーションメモリーセクションの左端にあるM./TO DISK(メモリー)ボタンを押しながら、記録したいナンバーのボタンを押します。

1. M./TO DISKボタンを押しながら

2. ナンバーのボタンを押します



レジストレーションが記録されると、押したナンバーのボタンが一時的に点滅します。



NOTE

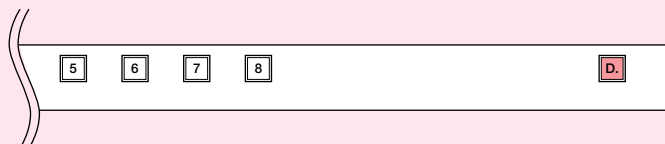
1～8のナンバーのボタンに記録と呼び出しが可能です。ただし、MDRの再生やレジストレーションシフトによる呼び出しは、1～16まで可能です。

2 レジストレーションを呼び出す

呼び出したいナンバーのボタンを押すだけで、記録したレジストレーションをパネル上に呼び出せます。

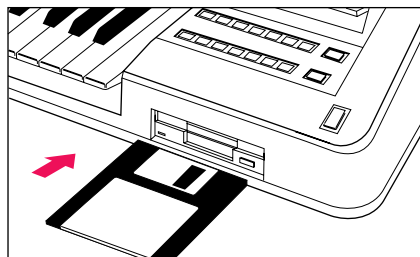
ディスプレイボタンについて

レジストレーションのナンバーボタンを押すと、リズムやアカンパニメントのパターンも同時に変わります。しかし、レジストレーションメモリー右端のD.(ディスプレイ)ボタンをオンにすることで、テンポ等をはじめとするリズムの設定(リズムの種類やアカンパニメント)は変えずに、レジストレーションメモリー機能を使って演奏することができます。



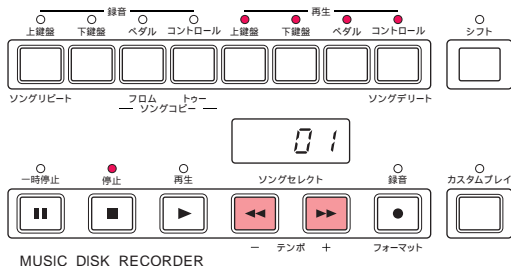
3 記録したレジストレーションを フロッピーディスクに保存する

- 1 MDR(ミュージックディスクレコーダー)セクションのディスク挿入口に、フォーマット済みのフロッピーディスクを差し込みます。(ディスクのフォーマットについては、30ページをご参照ください。)



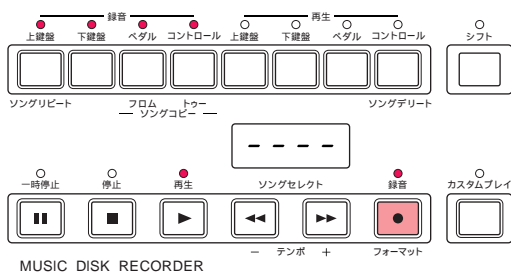
NOTE
フロッピーディスクへの保存/呼び出しの詳細については、第6章ミュージックディスクレコーダーの37、38ページをご参照ください。

- 2 ソングセレクトボタンを押して、記録するソングナンバーを選択します。



1枚のディスクで、40ソング(2DDタイプのディスクでも2HDタイプのディスクでも同様)まで使用することができます。

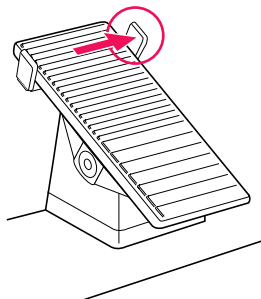
- 3 MDRの録音ボタンを押しながら、レジストレーションメモリーのM./TO DISK(メモリー)ボタンを押します。



この操作で、フロッピーディスクの1つのソングナンバーに、レジストレーションメモリーでつくった8レジストレーションが保存されます。

4 レジストレーションシフト

レジストレーションシフト機能を使うことによって、演奏中に手を使わずにレジストレーションの変更ができ、パネル操作をせずに演奏に専念することができます。エクスプレッションペダルの右側についているフットスイッチで、ナンバー順に、レジストレーションを選択することができます。



- NOTE**
- ・ ボタンは1～8までしかありませんが、上位機種でつくった9～16のレジストレーションまでシフトするようになっていました。
 - ・ 16の次は1にシフトします。

初期設定に戻す - パワーオンリセットについて

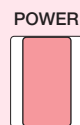
レジストレーションを含めたデータのすべてを消去し、エレクトーンを初期設定(工場出荷時)と同じ状態に戻すことができます。

1. いったん、エレクトーンの電源を切ります。
2. パネルのキーボードパーカッション2(ペダル)ボタンを押しながら電源を入れます。

キーボード
パーカッション



この場合、すべてのデータが消去されてしまいますのでご注意ください。大切なデータは、あらかじめMDRを使用してフロッピーディスクに保存されることをおすすめします。



前回電源を切る直前と同じ状態に戻す

通常、エレクトーンの電源を切ると、パネル上で設定していたデータはすべて消去され、再び電源を入れると自動的に基本レジストレーション1の設定に戻ります。

データを消去したくない場合は、電源を切る前に必ずレジストレーションメモリーボタンに記録してください。ただし以下の条件では、電源をオフにする前の状態に戻すことができます。

1. エレクトーンの電源を入れます。
2. パネル上のボタンに触らないようにして、M./TO DISK(メモリー)ボタンを押しながら、D.(ディスエーブル)ボタンを押します。



これで、前回電源を切ったときと同じ状態に戻ります。

(この時、基本レジストレーションボタン以外のパネル上のボタンを触ると、エレクトーンは新たなデータ設定となり、戻せなくなりますので、ご注意ください。)

ミュージックディスクレコーダーMDRは、演奏データを録音/再生するだけでなく、レジストレーションデータを保存したり読み込んだりすることができます。ディスクコピー機能を使ってデータのバックアップを取ったり、その他、市販のXG曲集を再生したりすることもできます。

1 MDRのご使用の前に

MDRをご愛用いただくために、ご使用時には以下のことをお守りください。

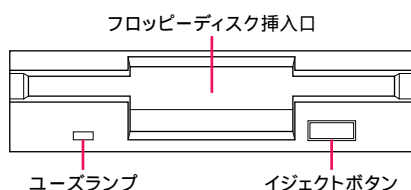
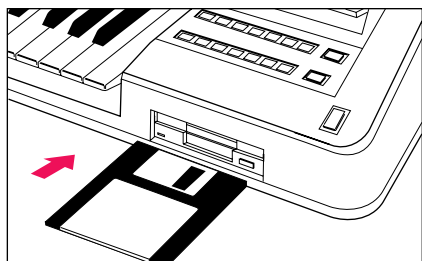
フロッピーディスクの種類

3.5インチの2DDまたは2HDフロッピーディスクがご使用になれます。(このエレクtoonには、2HDのブランクディスクが1枚付いています。)

フロッピーディスクの挿入/取り出し

フロッピーディスクの入れかた

フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、MDRセクション下部のディスク挿入口にカチッと音がするまでいねいに差し込みます。



NOTE

EL-200の電源を入れると、ディスク挿入口左下のユーズランプは常に点灯して、MDRが使用可能であることを示します。

フロッピーディスクをディスク挿入口から取り出すときのご注意

❗ フロッピーディスクを取り出すときは、あらかじめ、MDRの停止ボタンのランプが点灯していることを確認してください。(録音を行っていた場合は、停止ボタンを押して、デジタルディスプレイのストップ処理中を示す点線表示が止まったことや停止ボタンのランプが点灯したことを確認した上で、ディスクを取り出すよう心がけてください。)

停止ボタンのランプ点灯を確認後、ディスク挿入口の右下にあるイジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出たことを確認してから、ディスクを取り出してください。

⊘ 録音中や再生中などは絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、MDRの故障の原因になります。

❗ イジェクトボタンを中途半端に押したり、あわてて押し、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなる場合があります。この場合、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたり、MDRが故障したりする原因になります。

このような場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、もう一度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。

❗ 電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめMDRから取り出してください。電源を切ったあと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

磁気ヘッドの定期的なクリーニング

MDRは高精度の磁気ヘッドを使用しています。MDRを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。

MDRを良好な状態でご使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に(1ヵ月に1回程度)クリーニングしていただくことをおすすめします。



NOTE

磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

フロッピーディスクについてのご注意

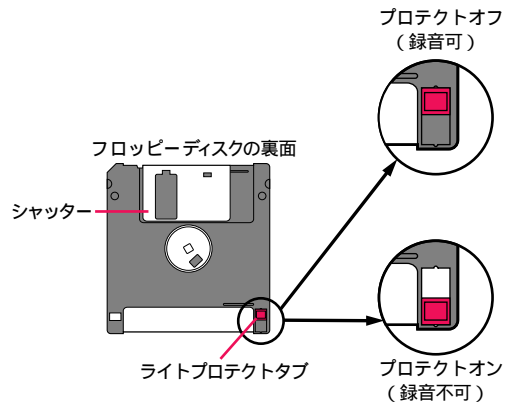
フロッピーディスクの取り扱いと保管

- ❗ (持ち運ぶ場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにしてください。
- ⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにご注意ください。
- ⊘ ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ⊘ 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ⊘ シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- ⊘ フロッピーディスクにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

誤消去防止

フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みができないようにしてください。

逆に、録音する場合などは、ご使用前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



データのバックアップ

フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとして予備のディスクに保存しておかれることをおすすめします。バックアップディスク作成のためのディスクコピーについては、45ページをご参照ください。



NOTE

市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

新しいタイプのMDR

EL-200のMDRは、フロッピーディスクをディスク挿入口に挿入すると、ディスクの内容をすぐに自動的に読み込んでいく仕様になっています。したがって、ディスクを挿入すると、すぐにデータ読み込みのための動作音が始まります。この機能によって、再生をすぐにスタートさせることができます。また、データ再生中の動作音が少なくなるというメリットが生まれました。



NOTE

ディスクを抜くと、現在再生しているソング以外のデータは(エレクトーンから)失われてしまいます。



NOTE

データ読み込みのための動作音が生じる時間は、フロッピーディスクに入っているデータの量に比例します。MDRを使用していないときにMDRの動作音が気になる場合は、そのままディスクを取り出しても問題ありません。

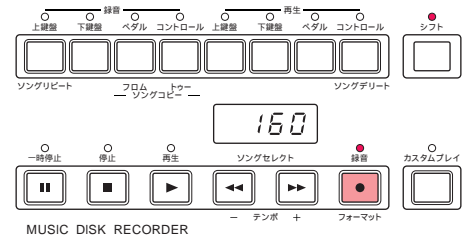
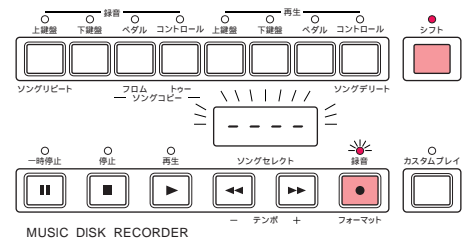
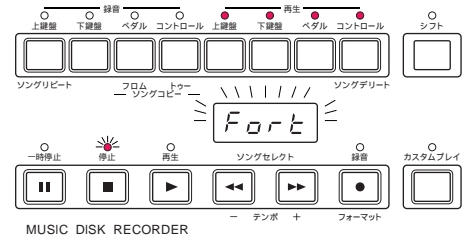
2 ディスクをフォーマットする

ディスクを使用するためには、最初にディスクをフォーマット(初期化)する必要があります。フォーマットとは、ディスクをMDRの書式に合わせる作業です。

1 ディスクの表側を上にして、MDRのディスク挿入口にしっかりと差し込みます。
デジタルディスプレイに"Fort"が現れ、挿入したディスクがフォーマットする必要があることを示します。

2 MDRセクションのシフトボタンを押しながら、フォーマットボタンを押します。
MDR中央部のデジタルディスプレイ上に小さなバー表示が現れ点滅を始めます。同時にフォーマットボタンの真上のランプも点滅し、フォーマットの準備ができたことを示します。

3 もう一度フォーマットボタンを押します。
フォーマットが開始されます。
MDRのデジタルディスプレイには数字の160が表示され、160から001まで減少していきます。フォーマットが完了したら、MDRはストップの状態に戻ります。



フォーマットを実行すると、ディスクの中のすべてのデータは消去され、新たにデータが記録できる状態になります。消去されたデータは永久に失われてしまいます。フォーマットを実行する前に、重要なデータが入っていないかどうかよくご確認ください。

シフトボタンについて

MDRパネルのそれぞれのボタンの真上に表示されている機能を選択する場合は、単に該当するボタンを押すだけですが、ボタンの真下に表示されている機能や表示の無い機能を選択する場合には、シフトボタンを押しながら、その該当するボタンを押します。

3 録音する

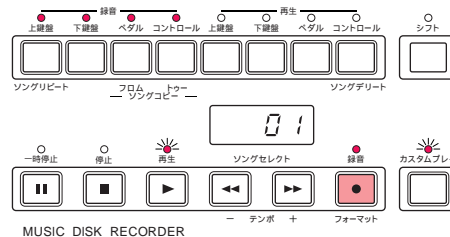
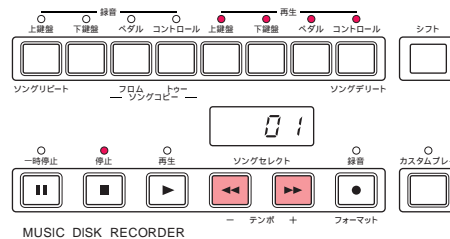
(1) 録音するには

- 1 まずレジストレーションメモリーの設定など、録音したい曲の演奏の準備をします。
- 2 フォーマットされたディスクを、ディスク挿入口に差し込みます。
- 3 録音したいソングナンバーを、ソングセレクトボタンを使って選択します。
- 4 録音ボタンを押します。
録音ボタンのランプが点灯し、再生ランプと、カスタムプレイランプが点滅を始め、MDRが録音待機状態になったことを示します。
- 5 再生ボタンを押します。
再生ボタンのランプが点灯し、MDRのデジタルディスプレイ上を小さなバーが左から右に走ります。これは、エレクトーンが設定されたレジストレーションなどのデータの読み込みをしていることを表します。



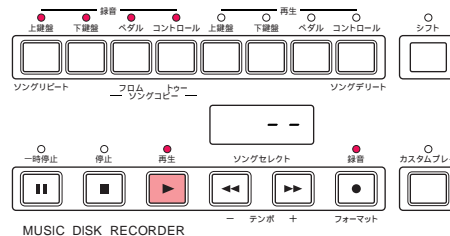
NOTE

最高で40ソングまで録音できますが、演奏データの場合は使用するメモリーの量が多いので、1枚のディスクに録音できる曲数は実際にはもっと少なくなります。(メモリーの残量については、46ページをご参照ください。)



NOTE

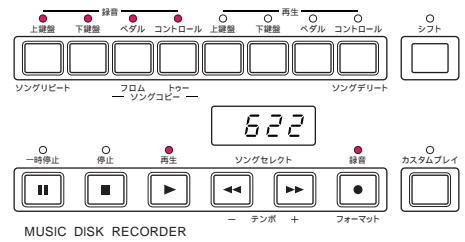
すでに該当するソングナンバーにデータが録音されている場合は、中央のデジタルディスプレイのソングナンバーの左側に2本の小さなバー(-)が表示され、デジタルディスプレイと録音ランプが点滅を始め、該当するソングナンバーにデータが入っていることを知らせます。そのまま録音を実行したい場合は、もう一度録音ボタンを押すと4の録音待機状態になります。キャンセルしたい場合は、停止ボタンを押します。



6

デジタルディスプレイに数字が表示されたのを確認してから、演奏を開始します。

エレクトーンがデータの読み込みを終了し、演奏可能な状態になると、デジタルディスプレイは小さなバーの表示から数字表示に変わります。この数字は、ディスクのメモリーの残量を表しています。

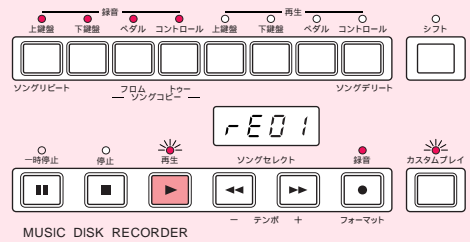


NOTE

数字表示後の演奏前のわずかな時間の経過も記録され、再生時に反映されます。

レコーディング中にミスをした場合は

- レコーディングの状態のまま、再生ボタンを押します。これで録音が中止され、曲の頭に戻ることができます。デジタルディスプレイの左側に「rE」(RETRY：リトライ：再試行)の文字が表示され、再生とカスタムプレイのランプが点滅を始め、再度録音が可能になったことを知らせます。
- もう一度再生ボタンを押すことで、再度録音を開始できます。前もって録音されたデータは、すべて新しいデータに置き換わります。

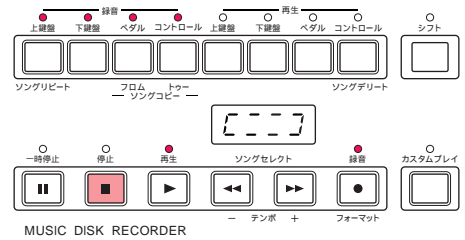


6

ミニジックディスクレコーダー(MDR)

7

演奏が終わったら、停止ボタンを押します。デジタルディスプレイに停止処理中の表示が出たあと、停止ランプが点灯し、MDRはストップの状態に戻ります。



停止処理中であることを示します



フロッピーディスクを取り出す場合は、デジタルディスプレイの停止処理中を示す点線表示が止まったことや停止ボタンのランプが点灯したことを確認した上で取り出すよう心がけてください。

NOTE

デジタルディスプレイのメモリー残量が*008*またはそれ以下になったら、数字は点滅を始め、残量が0に近くなったことを知らせます。

8

再生ボタンを押して、録音した演奏を聞いてみます。再生を開始するまでには、レジストレーションなどの読み込みのため1~2秒かかります。(再生については、39ページをご参照ください。)



録音/再生中は、絶対に電源を切ったり、イジェクトボタンを押したりしないでください。またエレクトーンの電源を切る際には、あらかじめフロッピーディスクを取り出しておいてください。故障の原因になります。

MDRの概要

MDRは通常のカセットテープレコーダーと同じように操作がシンプルで簡単ですが、内容的にはカセットテープレコーダーよりもはるかに優れています。MDRは、演奏データだけではなくパネル面のレジストレーションデータや音量の加減などのコントロールデータをデジタル信号として記録します。MDRが記録するデータは、大きく分けて以下の3種類に分類できます。

1. レジストレーションデータ

パネル上のレジストレーションだけでなく、前もってレジストレーションメモリーボタンに記録されているデータも、演奏を録音する前に記録します。

2. 演奏データ

演奏データを、フォルティシモからピアノシモまで、演奏の微妙な変化も逃さず録音します。上鍵盤、下鍵盤、ペダル、(リ・ド) (キーボードパーカッション)をそれぞれ別々に記録しますので、ほかのパートに影響を与えることなく変更できます。

3. コントロールデータ

エクスプレッションペダル、フットスイッチやニーレバーの情報など、演奏中のエレクトーン上の設定変更をすべて記録します。

(2)パート録音するには

上鍵盤、下鍵盤、ペダル、リ-ド、それぞれのパートを個別に録音することができます。また、この機能で、キーボードパーカッションや、レジストレーションの変更、エクスプレッションペダル操作といったコントロールデータも個別に記録することができます。

1 まずMDRでの録音の準備をします。(この操作は、31ページの録音の手順1~4と同じです。)

1. 演奏に必要なすべてのレジストレーションを、レジストレーションメモリ-ボタンに設定します。
2. フォーマットされたディスクをMDRに挿入します。
3. MDRのソングナンバーを選択します。
4. 録音ボタンを押して、録音の待機状態にします。

2 録音したいパートを選択します。
この場合、1-4.でレコードボタンを押すと、録音側の各パートが自動的に選択されて、各パートのランプが点灯します。

録音側の録音しないパートのボタンを(この場合、上鍵盤を)押すと、そのパートのランプが消え、逆に再生側のそのパートのランプが点灯します。

録音/上鍵盤

点灯の状態、上鍵盤パートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。

録音/下鍵盤

点灯の状態、下鍵盤パートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。

録音/ペダル

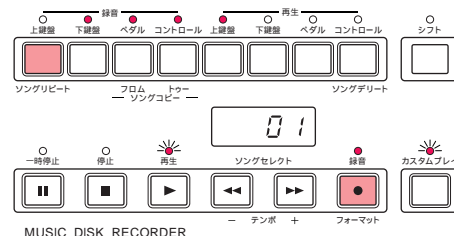
点灯の状態、ペダルパートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。

録音/コントロール

点灯の状態、コントロールデータの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。

(コントロールデータについては、"MDRの概要"をご参照ください。)

上記のイラストの場合、上鍵盤パートの録音だけをキャンセルしていることとなります。



リードボイスとキーボードパーカッションのパート録音

MDRのパネル上には表示されていませんが、リードボイスとキーボードパーカッションもパートごとの録音/再生ができます。

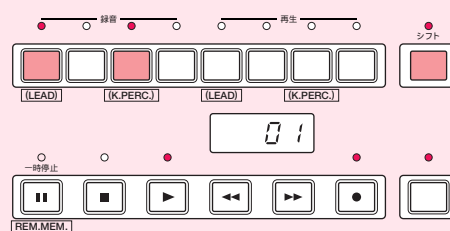
リードとキーボードパーカッションのパート録音をするには録音待機状態でシフトボタンを押しながら、イラストに示された録音側のリ - ド/キーボードパーカッションのパートボタンを押します。

録音/リード

点灯の状態で、リードパートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。

録音/キーボードパーカッション

点灯の状態で、キーボードパーカッションのパートの録音を選択。オフで録音キャンセルとなります。(キーボードパーカッションは、リズムと分離して録音/再生ができます。)



NOTE

このように、リードとキーボードパーカッションも、ほかのパートと別に独立して録音/再生ができます。またパート録音の指定をしない場合は、リードとキーボードパーカッションのパートは、それぞれリード 上鍵盤やキーボードパーカッション 下鍵盤/ペダルの情報として録音/再生されます。

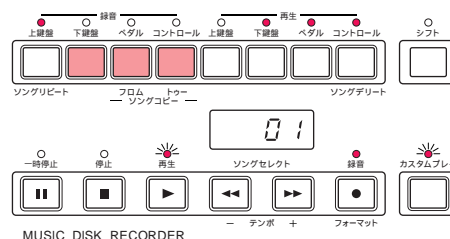
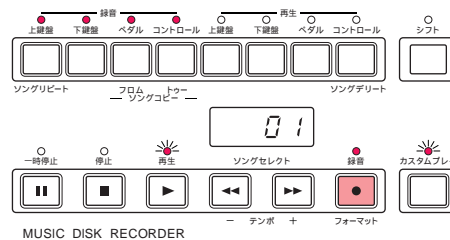
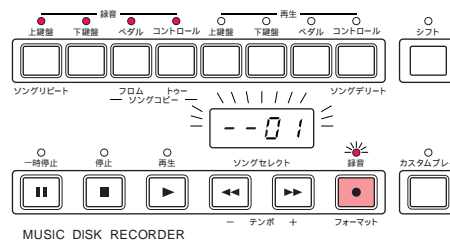
3 再生ボタンを押し、数字表示(メモリー残量表示)がMDRのデジタルディスプレイ上に現れたら、演奏を始めます。

4 (下鍵盤とペダル鍵盤の)演奏が終了したら、停止ボタンを押します。これで(下鍵盤とペダル鍵盤の)パート録音ができました。次に、録音しなかった(上鍵盤)パートの録音を行ないます。

5 MDRの録音ボタンを押します。この場合、すでにこのソングナンバーには(下鍵盤とペダル鍵盤の)演奏データが入っています。MDRのデジタルディスプレイには、イラストにあるようにソングナンバーとその左側の小さな2本のバーが表示され点滅を繰り返して、このソングナンバーにすでにデータが入っていることを示します。

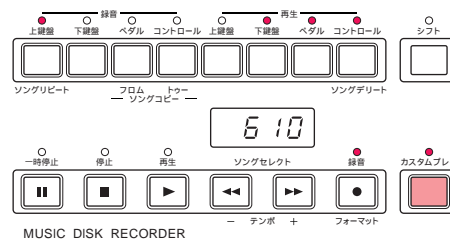
6 別のパートを重ねるために、もう一度録音ボタンを押します。再生とカスタムプレイのランプが点滅を始め、録音待機状態になったことを示します。

7 上記2で録音した録音側のパートボタンを押して録音をキャンセルし、再生のパートボタンのランプを点灯させます。ここでは、2で録音しなかったパート(上鍵盤)だけ録音側のパートボタンのランプを点灯させます。



8

新しいパートを録音するために、カスタムプレイボタンを押します。既に録音したパート(下鍵盤とペダル鍵盤)の再生が始まりますので、それに合わせて新規のパート(上鍵盤)の演奏を始めます。レジストレーションデータは上記3のステップで記録されていますので、すぐに録音できる状態になります。曲の最後まで行くと、MDRは自動的にストップします。



NOTE

カスタムプレイは、レジストレーションデータ以外のデータを録音/再生する場合に使います。

NOTE

重ねて録音するパートの長さは、その前に録音したパートの長さ以上にはなりません。前に録音していた曲の上に別の曲を録音する場合も、前に録音していた曲の長さを超えることはできません。長さを変更したい場合は、あらかじめソングデリート(削除)を行なって、前の曲を削除してから録音してください。(ソングデリートについては、45ページをご参照ください。)

パンチイン録音

録音したソングの一部だけを録音し直すことができます。パートを選択することによって、特定のパートだけをパンチイン録音することもできます。

1. 再生ボタンを押してソングを再生します。
2. パンチイン録音したい位置で、一時停止ボタンを押します。ソングが一時停止状態になります。
3. 録音ボタンを押します。再生とカスタムプレイのランプが点滅を始め、録音待機状態になったことを示します。
4. 録音側のパートボタンを押して、パンチイン録音しないパートのランプを消します(パンチイン録音したいパートのランプだけを点灯させます)。
5. 再生ボタンを押して録音を開始します。変更したい部分だけを演奏します。
6. 速やかに停止ボタンを押して、録音を終了します。

4 レジストレーションなどのデータだけを記録する

演奏データを録音せずに、レジストレーションなどのデータだけを記録することもできます。記録されるデータには、レジストレーションメモリの設定や、レジストレーションシフト、リズムパターン(ユーザーリズム)、リズムシーケンスデータ、そしてユーザーボイスが含まれます。記録する方法としては、以下の2通りがあります。

[方法1]

- 1 記録したいレジストレーションデータを設定します。
- 2 ソングセレクトボタンを使って、MDRの(フロッピーディスクの)記録したいソングナンバーを選択します。
- 3 MDRの録音ボタンを押しながら、レジストレーションメモリーセクションのM./TO DISK(メモリー)ボタンを押します。
MDRのデジタルディスプレイ上を、小さなバーが左から右に走りレジストレーションを記録していることを示します。終了すると、自動的にストップの状態に戻ります。

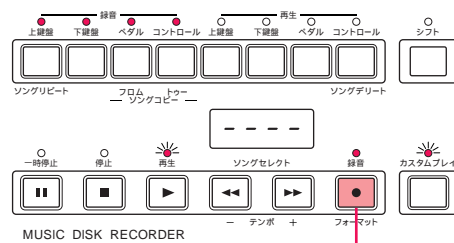
[方法2]

- 1 上記1、2と同じ手順で、記録したいレジストレーション/データを設定し、記録させたいソングナンバーを選択します。
- 2 録音ボタンを押して、録音を待機状態にします。
- 3 再生ボタンを押して、小さなバーがデジタルディスプレイ上を左から右に走るのを確認したら、すぐに停止ボタンを押します。
この操作は演奏を録音するときと同じです。MDRが演奏データの録音を始める前に、レジストレーションなどのデータを読み込んだところで、録音を中断して、レジストレーションなどのデータだけを記録するものです。

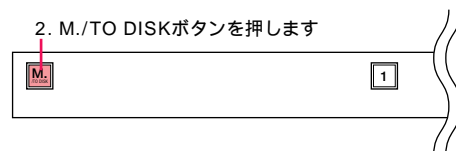


NOTE

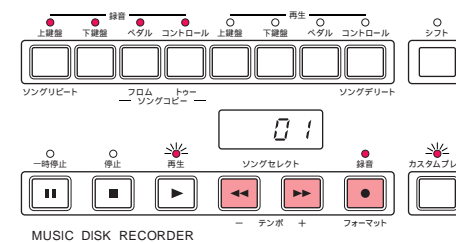
EL-200では、レジストレーションシフトの設定やリズムシーケンスのプログラムなどの機能をサポートしていませんが、EL-900/700/500/400などの上位機種で作ったレジストレーションシフトなどのデータを記録したディスクを、EL-200に読み込んで利用することは可能です(47ページをご参照ください)。



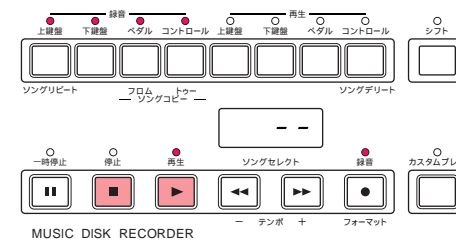
1. 録音ボタンを押しながら



2. M./TO DISKボタンを押します



MUSIC DISK RECORDER



MUSIC DISK RECORDER

5 レジストレーションなどのデータを読み込む

ソングナンバーに記録されたレジストレーションなどのデータは、簡単にエレクトーンを読み込むことができます。

- 1 ディスクを挿入し、読み込みたいデータの入っているソングナンバーを選択します。
- 2 MDRの再生ボタンを押します。
これで、レジストレーションなどのデータを読み込むことができます。

レジストレーションだけの記録/読み込みについて

MDRとレジストレーションメモリーを併用することで、演奏中にパネル設定を変更することなく、1曲で8種類以上のレジストレーションを使用する曲にも充分対応することができます。(1枚のディスクで40ソングナンバーがあり、また、1ソングナンバーにはレジストレーションメモリーボタンの数だけ[8種類]記録できます。)

8種類以上のレジストレーションを使って1つの曲を演奏する場合は：

- 1 演奏する前に、レジストレーションを順序良くパネル上のレジストレーションメモリーボタンに記録して、それをいくつかのソングナンバーに記録します。この際、演奏する順序でソングナンバーを整理しておくとう便利です。
- 2 演奏中に、1つのソングナンバーの中の8レジストレーションを使用したら、次のソングナンバーをソングセレクトで選択し、再生ボタンを押します。これで、パネル上のレジストレーションメモリーボタンにアサインされているレジストレーションは、次のものと入れ替わります。
- 3 この操作を繰り返すことで、どんなに長い曲でも簡単にレジストレーションチェンジができます。

6 レジストレーションだけを 入れ替える

演奏データを変えることなく、録音されている曲のレジストレーションのみを変えることもできます。操作方法は、前述の『4 レジストレーションなどのデータだけを記録する』と同じです。

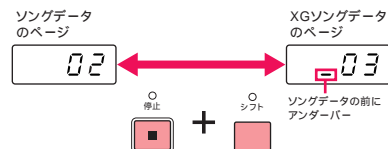
7 再生する

再生ボタンを押すだけで、自動的にレジストレーションなどのデータを読み込み、再生することができます。

NOTE

EL-200では、市販のXGソングデータ(SMFフォーマット0または1)を再生することもできます。

なお、通常のエレクトーンのソングデータとXGソングデータが混在しているディスクの場合、それぞれのデータはディスク内の別々の場所に収納されています。このようなディスクをMDRに挿入したときは、まずエレクトーンのソングデータが選べる状態になっています。そこで、シフトボタンを押しながら停止ボタンを押すことにより、エレクトーンのソングデータのページとXGソングデータのページを切り替えることができます。

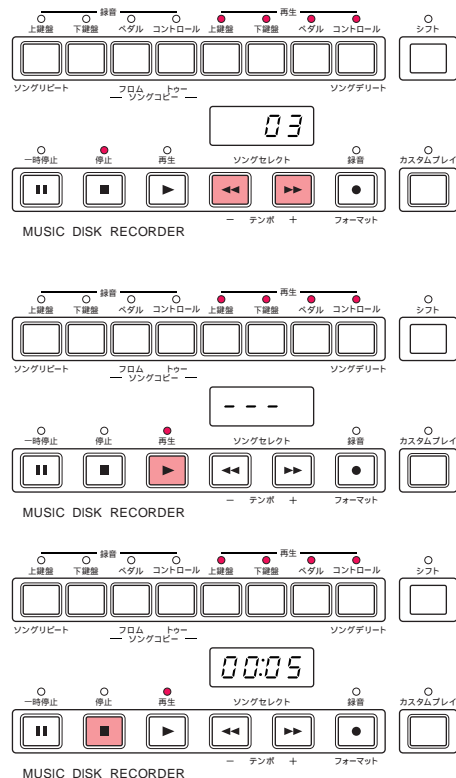


NOTE

EL-200では、レジストレーションシフトの設定やリズムシーケンスのプログラムなどの機能をサポートしていませんが、EL-900/700/500/400などの上位機種で作ったレジストレーションシフトなどのデータを記録したレジストレーションを、EL-200に読み込んで利用することは可能です(47ページをご参照ください)。

(1)再生するには

- 1 ソングセレクトボタンを使って、再生させたいソングナンバーを選択します。
- 2 再生ボタンを押します。
再生ランプが点灯し、デジタルディスプレイ上に小さなバーが走り、MDRがその曲のレジストレーションを読み込んでいることを示します。
- 3 レジストレーションデータの読み込みが終了すると、再生が自動的に始まります。デジタルディスプレイ上には、時間の経過を表す数字が表示されます。
曲の最後まで行くと自動的にストップしますが、停止ボタンを使って曲の途中で再生を中止することもできます。



リードボイス/キーボードパーカッションをパート録音していた場合

リード/キーボードパーカッションを分離して録音した場合は、リードとキーボードパーカッションの再生ボタンがオンになります。EL-200では分離録音したパートが自動的にオンになります。

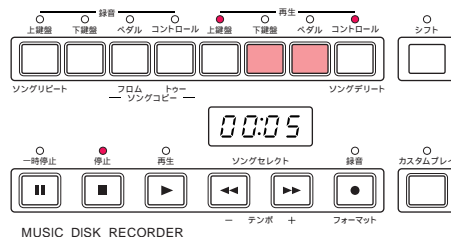


MDRは、録音したときの状態をそのまま再現しますが、EL-87/90などで作成されたデータを再生する場合は、リードはオフ、キーボードパーカッションはオンになります。(リードパートをオンにするには、シフトボタンを押しながら再生側の上鍵盤ボタンを押します。)

(2)パート再生するには

MDRでは、演奏データの特定のパートだけを再生することもできます。特定の練習をする場合などに便利です。

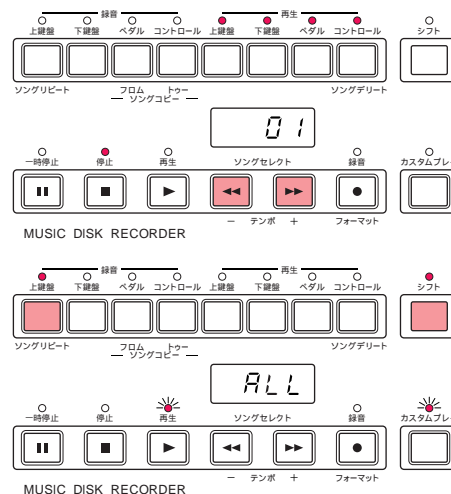
- 1 まず、再生したいソングナンバーを選択します。
- 2 再生側の消したいパートのボタンを押して、そのパートのランプをオフにします。
また、パート再生させたいパートのランプが点灯していることを確認します。
- 3 再生ボタンを押します。
MDRがレジストレーションなどのデータを読み込んだところで、再生が始まります。
- 4 再生されているパートにあわせて演奏します。
曲の最後まできたら、自動的にストップの状態に戻ります。



(3)リピート再生するには

特定の曲だけを繰り返し再生したり、ディスクに録音されている全部の曲を繰り返し再生することができます。

- 1 まず、再生したいソングナンバーを選択します。
ディスクの全曲をリピート再生したい場合には、再生したい最初の曲を選択します。
- 2 シフトボタンを押しながら、ソングリピートボタンを押します。
MDRのデジタルディスプレイ上には、「ALL」(オール：全曲)の表示が現れます。



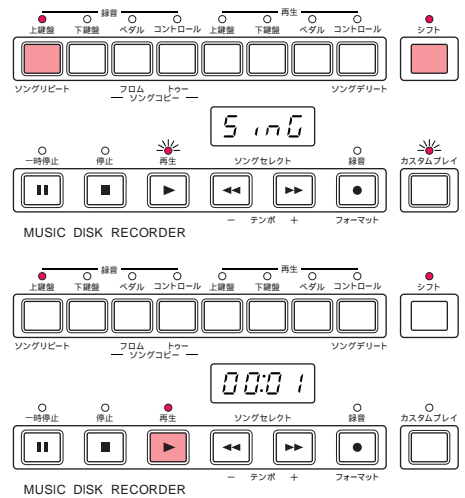
- 3** 選択した曲から全曲リピート再生したい場合
再生ボタンを押します。
これで、全曲のリピート再生がスタートします。

特定の曲1曲だけをリピート再生したい場合

- 1.** もう一度シフトボタンを押しながら、ソングリピートボタンを押します。
MDRのデジタルディスプレイが、"SinG"(SINGLE : 1曲)の表示に変わり、1曲だけの繰り返しを選んだことを示します。

- 2.** 再生ボタンを押します。
これで、1曲だけのリピート再生がスタートします。

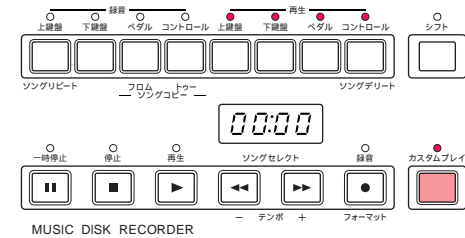
停止ボタンを押すと、リピート再生はストップします。



8 その他の機能

(1) カスタムプレイ

レジストレーションやほかのデータを読み込まないで再生したい場合は、再生ボタンの代わりにカスタムプレイボタンを押します。
すぐに再生がスタートします。



NOTE

シフトボタンを押しながらカスタムプレイボタンを押すが、次のリード&オートインクリメントを実行すると、キーボードパーカッションのアサイン、ユーザーリズム/リズムシーケンス/ユーザー音色のデータの設定を除いたレジストレーションデータを読み出して、再生がスタートします。レジストレーションだけを呼び出すときに使用すると便利です。

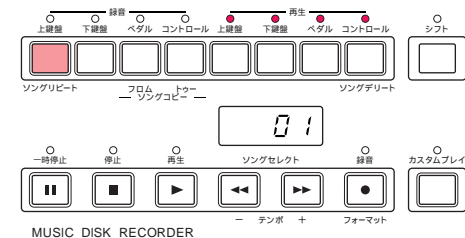
(2) リード&オートインクリメント

レジストレーションだけを呼び出すには、シフトボタン+カスタムプレイボタンの方法のほかに、リード&オートインクリメント機能を使う方法もあります。

リード&オートインクリメント機能について

MDRのストップ状態で、録音側の上鍵盤ボタンを押すと、MDRはレジストレーションデータを読み出して、その後自動的に次のソングナンバーを選択します。

シフトボタン+カスタムプレイボタンの方法よりも、次のソングナンバーまで自動的に選択できるので便利です。

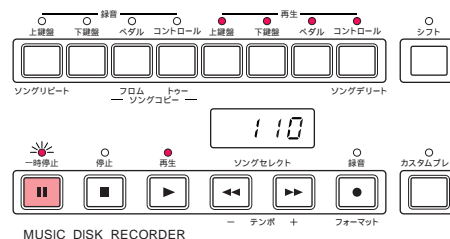


NOTE

レジストレーションデータが入っていないソングの場合は、この機能は動きません。

(3)ポーズ(一時停止)

再生中に一時停止ボタンを押すと、ソングを一時停止します。
一時停止ボタンをもう一度押すと、一時停止したところから再生がスタートします。



(4)早送り/巻戻し

カセットテープレコーダーのように、再生中に早送りと巻戻しができます。

MDRパネル上の▶▶で早送り、◀◀で巻戻しとなります。このボタンを押すと再生は中断され、デジタルディスプレイの数字表示も早送り/巻戻しに従って変化します。

ボタンを押さえるのをやめても、再生は中断されたままです。中断したところから再生を再開する場合は、再生ボタンを押してください。



巻戻しの場合、位置を確認するために少し時間がかかります。



早送り/巻戻しのスピードは、再生スピードの5倍の速さです。

(5)再生テンポの変更

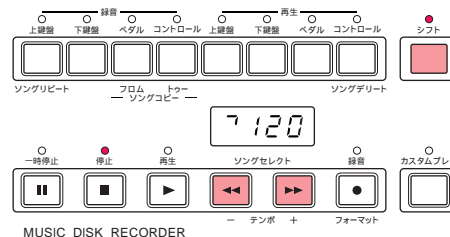
再生するソングのテンポを変えることができます。

シフトボタンを押しながら、テンポ+またはテンポ-を押します。

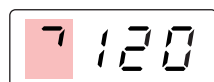
1回押すごとに少しずつ変化していきますが、ピッチが変わるわけではありません。

テンポ+を押すとテンポが速くなり、テンポ-を押すとテンポが遅くなります。(MDRによる再生の場合は、エレクトーンのリズムセクションのテンポダイヤルではコントロールできません。)

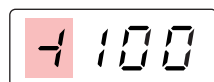
オリジナルのテンポに戻すには、シフトボタンを押しながら、+と-両方のテンポボタンを同時に押します。



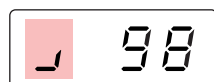
テンポが変わったら、その変化の程度がMDRのデジタルディスプレイにパーセントで表示されます。オリジナルのテンポは100(パーセント)で表示され、100より大きい数値の場合はテンポが速くなったことを、100より小さな数値の場合はテンポが遅くなったことを表します。



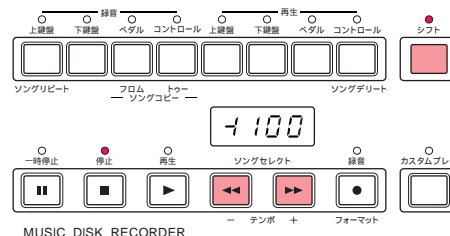
テンポを速くした場合



オリジナルテンポ



テンポを遅くした場合



1つのソングでテンポの変更をした場合、ほかのソングナンバーのソングも変更したテンポになります。テンポを変えた場合は、ほかのソングに移る前に必ずテンポの設定を元の位置(100)に戻してください。エレクトーンの電源を切るか、ディスクを入れなおすと、元の状態に戻ります。

(6)ソングコピー

1つのソングナンバーのデータを、別のソングナンバーにコピーする機能です。1つのディスク内でも、異なったディスク間でもコピーすることができます。

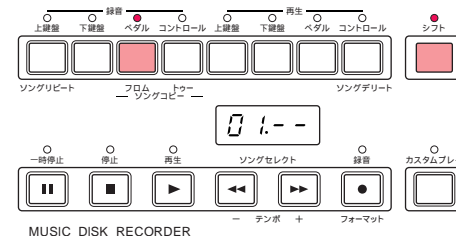
同一ディスク内でソングコピーをするには

- 1 まずコピーしたいソングナンバーを選択します。
- 2 シフトボタンを押しながら、ソングコピー：フロンボタンを押します。コピーしたいソングナンバーが、デジタルディスプレイの左側に表示されます。
- 3 次に、コピー先のソングナンバーを指定するために、シフトボタンを押しながら、ソングコピー：トゥーボタンを押します。MDRは、自動的にコピー先のソングナンバー(未使用のソングナンバー)を探し出し、そのナンバーをデジタルディスプレイの右側に表示します。録音ボタンの上のランプが点滅を始め、ソングコピーが待機状態になったことを示します。もし、すべてのソングナンバーがすでに使用されている場合は、デジタルディスプレイに"FULL"(フル)と表示されます。この場合には、コピーを中止するか、ソングデリート機能で不要なソングナンバーのデータを削除してから、もう一度実行してください。(ソングデリート機能については、103ページをご参照ください。)
- 4 表示されたナンバーではなく、別のソングナンバーにコピーしたい場合は、コピー先のソングナンバーをソングセレクトボタンで選択します。この場合、MDRでは未使用のソングナンバーしか選択できません。
- 5 コピー先の指定が終わったら、録音ボタンを押してソングコピーを行ないます。録音ボタンのランプが点滅から点灯状態になり、ソングコピーが開始されたことを表します。デジタルディスプレイ上にはコピーするソングの(データ)サイズが数値で表示され、コピーが進むにつれて数値が減少していき、最後に"000"が表示されてコピーが終了します。



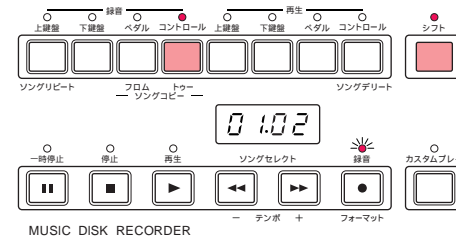
NOTE

ソングコピーができるのはエレクトーンのデータだけです。XGソングデータではできません。



NOTE

選択したソングナンバーにデータが入っていない場合は、MDRは自動的に次のデータが入っているソングナンバーを選び出して表示します。



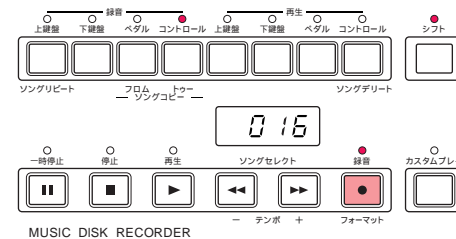
NOTE

空きメモリが足りなくなった場合も、"FULL"と表示されます。



NOTE

コピーを中止したい場合は、停止ボタンを押します。



異なったディスク間でソングコピーをするには

1 コピー元のソングが入っているディスクをディスク挿入口に差し込みます。

2 シフトボタンを押しながら、ソングコピー：フロムボタンを押します。
コピーするソングナンバーが、デジタルディスプレイの左側に表示されます。

3 コピーしたいソングナンバーを選択します。

4 録音ボタンを押します。
デジタルディスプレイは右のように"00.-"で点灯します。
また録音ボタンのLEDは点灯したままになります。

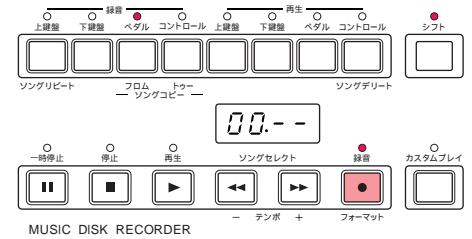
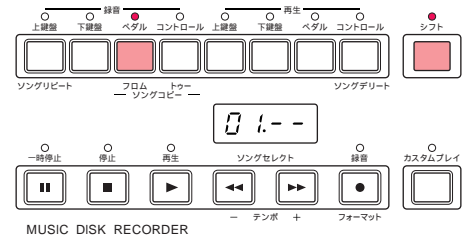
5 イジェクトボタンを押して、コピー元のディスクを抜きます。

6 コピー先のディスクをディスク挿入口に差し込みます。

7 シフトボタンを押しながら、ソングコピー：トゥーボタンを押します。
デジタルディスプレイの右側に、コピー先のディスクのソングナンバーが表示されます。MDRは自動的にコピー先の未使用のソングナンバーを探し出し、表示します。

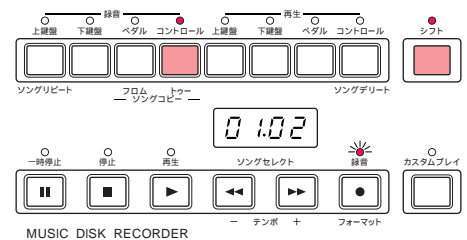
8 コピーしたいソングナンバーを選択します。

9 録音ボタンを押します。
デジタルディスプレイにはコピーするソングの(データ)サイズが数値で表示され、コピーが進むにつれて数値が減少します。最後に"0000"が表示されて、コピーが終了します。



NOTE

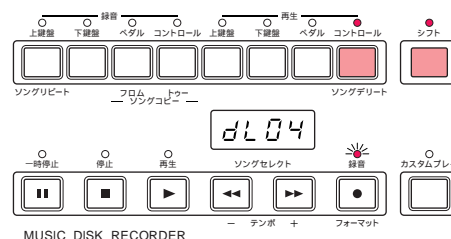
このとき、録音ボタンのランプは点灯したままです。通常、録音ボタンのランプが点灯中はディスクを抜いたりしてはいけませんが、ここでは抜いても問題ありません。



(7)ソングデリート

1つのソングナンバーに入っているデータをデリート(削除)する機能です。

- 1 まずデリートしたいソングナンバーを選択します。
- 2 シフトボタンを押しながら、ソングデリートボタンを押します。デジタルディスプレイのソングナンバー表示の左側に"d L"(DELETE:デリート)が表示され、録音ボタンのランプが点滅を始め、デリートが待機状態になったことを表します。もし、この時点でデリートしたいソングナンバーを変更したい場合は、ソングセレクトボタンを使って変更することができます。



デリートを中止したい場合は、停止ボタンを押してください。

- 3 録音ボタンを押して、デリートを実行します。録音ボタンが点滅から点灯の状態になり、ソングデリートが実行されます。

(8)ディスクコピー

1つのディスクの内容を別のディスクにコピーすることができます。フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとして予備のディスクに保存しておかれることをおすすめします。

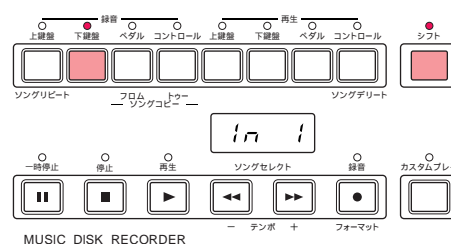
- 1 コピー元のディスクと、コピー先にするフォーマット済みのディスクを用意します。
- 2 シフトボタンを押しながら、録音パート側の下鍵盤を押します。デジタルディスプレイに"ln 1"(Insert Disk 1: インサートディスク1)が表示され、ディスクコピー機能が待機状態になったことを示します。



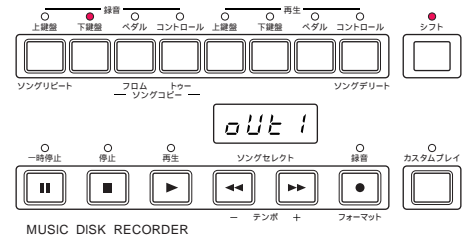
コピー元とコピー先のディスクは同じタイプのものであることが必要です。コピー元が2DDであれば、コピー先も2DDを用意してください。



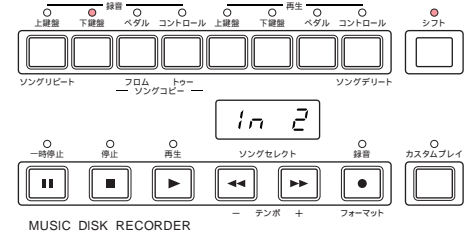
コピー元のディスクはライトプロテクト(85ページ)をオンしておきます。ライトプロテクトをオフにしたままでコピー元のディスクを入れると、"Prot"が点滅し、プロテクトをオンにするよう促します。また、逆に、コピー先のディスクはライトプロテクトをオフしておきます。ライトプロテクトがオンになったままでコピー先のディスクをMDRに挿入すると、デジタルディスプレイに"Prot"(Protect: プロテクト)が表示されます。コピープロテクトのかかったディスクには、コピーできません。



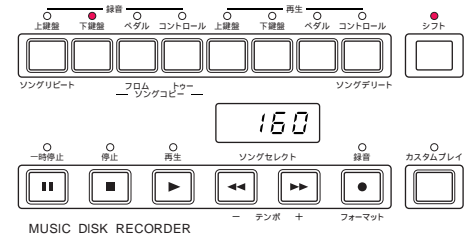
3 コピー元のディスクを挿入します。
MDRがコピー元ディスクの読み取りを行いません。
"out 1"(アウトディスク1)が表示されます。



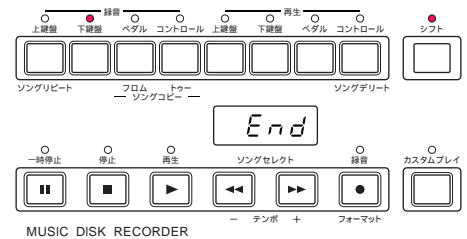
4 イジェクトボタンを押してコピー元ディスクを取り出します。
デジタルディスプレイに"ln 2"(Insert Disk 2 : インサートディスク2)が表示され、コピー先ディスクを挿入するように促します。



5 コピー先ディスクを挿入します。
数字の160がデジタルディスプレイに表示され、コピーの進行に伴って数字が減少していきます。



コピーが終了すると、デジタルディスプレイに"End"が2~3秒表示されます。



NOTE

ディスクのコピー中にエラーが発生すると、デジタルディスプレイに"Fort"または"bAd"が表示されます。コピー先のディスクをフォーマットし直して、もう一度ディスクコピーを実行してください。



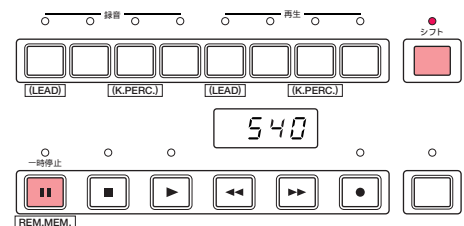
ディスクコピーの途中に、MDRの指示以外にディスクを抜き差ししないでください。ディスクがこわれるだけでなく、MDRが故障する原因になります。

(9)メモリー残量の確認

シフトボタンを押しながら、一時停止ボタンを押すと、フロッピーディスクのメモリー残量の確認をすることができます。

デジタルディスプレイ上にメモリーの残量が数字で表示されます。

メモリー容量は、2DDディスクで約700、2HDディスクで約1400です。



(10)コピープロテクト

市販のエレクトーン用ディスクには、著作権保護や誤消去防止のために、コピープロテクトがかかっているものがあります。ほかのディスクに、このディスクのデータをセーブすることはできません。

コピープロテクトされたディスクをMDRに挿入すると、デジタルディスプレイに"PrXX"という表示が現れます。

XXはソングナンバー(01～40)です。

(11)他の機種で作ったデータの読み込みについて

EL-900/700/500/400などの上位機種で作られたレジストレーションなどのデータをEL-200に読み込んで使用する場合、EL-200でサポートされていない(パネルで設定できない)音色/リズムやその他の機能の設定にも対応します。

以下の機能に対応します。

173種類のボイスと*ユーザーボイス

上鍵盤2音群、下鍵盤2音群、ペダル鍵盤2音群、リード1音群

66種類のリズムパターンと*ユーザーリズム

ボイスのコントロール/エフェクトの設定

- ・ 音群ごと：タッチトーン、フィート、パン、プリリアンス、シンフォニック/セレステ、ディレイ、フランジャー、ディストーション、ピブラート、タッチピブラート、リバーブ(*タイプ、レンジス、デブス)、サステインのレンジス、トレモロ/コーラス
- ・ リードスライド、リードチューン

リズムとアカンパニメントの音量、リバーブなどの設定

*ユーザーキーボードパーカッションの設定(120種類の打楽器音のアサイン)

*120種類の打楽器ごとの音量、パン、ピッチ、リバーブなどの設定

*リズムシーケンス

*レジストレーションシフトの設定

フットスイッチの設定(オフ、リズム、グライド、トレモロ)

ニーレバーコントロールの設定(リードスライド)

トランスポーズの設定

*の付いた項目はレジストレーションとしてメモリーできない機能です。



NOTE

EL-200でサポートされている範囲内の設定に戻りたい場合は、パワーオンリセット(27ページ)を行ない、EL-200を工場出荷時の状態に戻してください。なお、レジストレーションのみを元に戻したい場合は、基本レジストの1～5のいずれかのボタンを押してください。

デジタルディスプレイ上のその他のメッセージ

LED 画面	メッセージの意味
<i>inSt</i>	ディスクが挿入されていないので、ディスクを挿入してください。
<i>Prot</i>	(1)挿入したディスクのライトプロテクトタブが、オンの状態になっています。ライトプロテクトタブを、オフにしてください。 (2)コピープロテクトされた再生専用ディスクである場合に、録音やコピーやデリートを実行しようとする则表示されます。作業を中止してください。 (3)ディスクコピーの場合、コピー元のディスクのプロテクトをオンにしてください。
<i>ForSt</i>	ディスクがフォーマットされていないので、フォーマットしてください。
<i>FULL</i>	(1)メモリー残量が無いので、録音やコピーができません。別のディスクを使用するか、不要なソングデータを削除してください。 (2)すべてのソングナンバーに、データが入っています。(1)と同様に対処してください。
<i>EPtY</i>	すべてのソングナンバーにデータが入っていないので、ソングコピーができません。停止ボタンを押して、操作を中止してください。
<i>out</i>	録音 / 再生中にフロッピーディスクを取り出したため、エラーが発生しました。停止ボタンを押して操作を中断し、ディスクを入れなおしたあと、最初から操作をやりなおしてください。
<i>disc</i>	異なったディスクが挿入されました。正しいディスクを入れなおしてください。
<i>lots</i>	一度に余りに多くのデータを受けたため、録音できませんでした。停止ボタンを押してから、もう一度録音してください。
<i>bad</i>	ディスク不良のため、使用できません。別のディスクをご使用ください。
<i>Error</i>	データの受信 / 通信中にエラーが発生しました。停止ボタンを押してもう一度始めから操作してください。
<i>--XX</i>	既にデータが録音されているソングナンバーに録音しようとしています。停止ボタンを押して録音を中止して、他のソングナンバーを選びなおしてください。 XXはソングナンバー(01 ~ 40)です。
<i>PrXX</i>	コピープロテクトされたディスクをMDRに挿入すると、表示されます。保存したり、書き込んだりすることはできません。 XXはソングナンバー(01 ~ 40)です。
<i>oooo</i>	互換性の無いディスクが挿入されたことを表します。正しいディスクを入れなおしてください。
<i>_XX*</i>	XGソングファイルのとき、ソングナンバーの前にアンダーバーが表示されます。 *XXはソングナンバー(01 ~ 40)です。
<i>zhd</i> (または <i>zdd</i>)	ディスクコピーのとき、異なったタイプのディスクを入れる则表示されます。コピー元とコピー先のディスクは同じタイプをご使用ください。

フットスイッチ/ニーレバー

FOOTSWITCH AND KNEE LEVER

フットスイッチやニーレバーを使用すると、演奏中に演奏を妨げずにリズムをスタート/ストップしたり、サステインをオン/オフすることができます。

1 フットスイッチ

EL-200には、エクスプレッションペダルの左右にひとつずつフットスイッチがあります。右フットスイッチは、レジストレーションシフトをコントロールすることができます。(右フットスイッチについては、レジストレーションシフト=27ページをご参照ください。)

左フットスイッチは、リズムのスタート/ストップをコントロールすることができます。



NOTE
EL-900/700/500/400などの上位機種では、左フットスイッチの機能を変更することができますが、上位機種での設定をレジストレーションとしてEL-200に読み込むことによって、EL-200の左フットスイッチの機能を変更することができます。なお、一度変更したEL-200の左フットスイッチの機能を元に戻す場合は、基本レジストの1~5のいずれかのボタンを押してください。

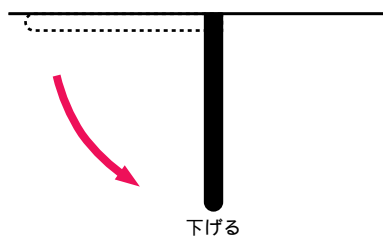
2 ニーレバー

鍵盤下にあるニーレバーは、上鍵盤と下鍵盤のサステインをコントロールします。

- 1 パネル左端の上鍵盤または下鍵盤のサステインボタンをオンにします。



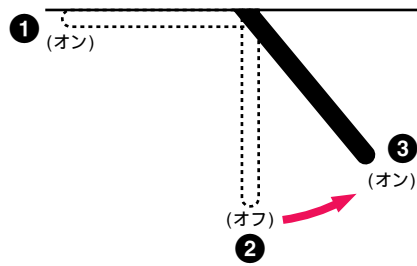
- 2 レバーを垂直に下げます。



3

演奏中にサステインをきかせたいところで、右足でニーレバーを右に押し
ます。

押している間だけ、サステインがかかります。



① ニーレバーがたたんである場合：

パネルのサステインボタンがオンになっていると、サステインがかかります。

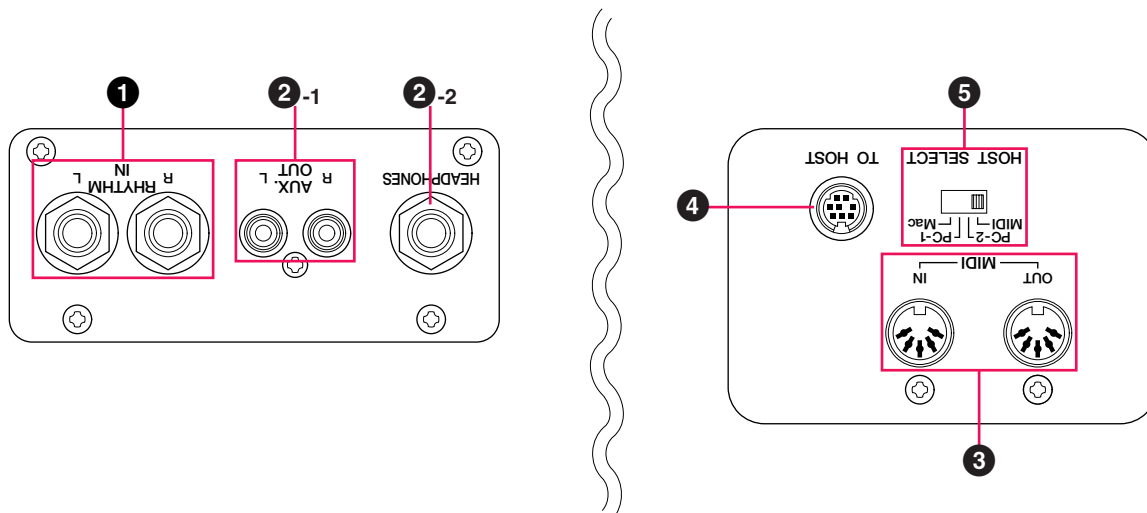
② ニーレバーが垂直の場合：

パネルのサステインボタンがオンになっていても、サステインはかかりません。

③ ニーレバーが右に押されている場合：

パネルのサステインボタンがオンになっていると、サステインがかかります。

EL-200にはいろいろな入/出力端子があります。鍵盤の下側の左側には入/出力端子が、右側にはMIDI端子があります。



① 入力端子

RHYTHM IN(リズム入力端子：フォーン L/R)

外部リズムマシンの信号をステレオ入力する端子です。エレクトーンの音と一緒にエレクトーンのスピーカーから出力され、エクスプレッションペダルでコントロールすることができます。

② 出力端子

②-1 AUX. OUT(ライン出力端子：RCAピン L/R)

エレクトーンの音声信号をステレオなどにステレオ出力する端子です。

②-2 HEADPHONES(ヘッドフォン端子)

ヘッドフォン専用の接続端子です。

③ MIDI端子

他のMIDI(Musical Instrument Digital Interface)規格の機器とデータのやり取りをしたり、EL-200でその機器をコントロールする場合に使用します。専用のMIDIケーブルが必要です(53ページ)。

④ TO HOST(トゥーホスト)端子

コンピューターのシリアルポートと、直接、MIDI接続することができます。

⑤ HOST SELECT(ホストセレクト)

MIDIケーブルを使用してコンピューターと接続する場合は、MIDIを選び、TO HOST端子を使ってコンピューターと接続する場合は、コンピューターの種類に合わせてPC-2、PC-1、Macのいずれかを選びます(52ページ)。



NOTE

TO HOST端子を使ったコンピューターとの接続については、次ページをご参照ください。

MIDIについて

EL-200の鍵盤の右下には、MIDK (ミディ) 端子やTO HOST(トゥーホスト)端子が付いています。

MIDK (ミディ)とはMusical Instrument Digital Interfaceの略で、電子楽器同士をつないで音楽情報や演奏データの交換をするための世界共通の規格です。たとえばEL-200をXG音源として使用したり、EL-200の上鍵盤で演奏したメロディを別のシンセサイザーで発音させたり、EL-200のリズムをスタートさせて、リズムマシンやコンピューターを同じテンポで演奏したりすることもできます。

MIDK (ミディ)機能を使用するためには、データのやり取りをするためのMIDI機器と接続するためのMIDIケーブルが必要です。MIDI端子の代わりに、TO HOST端子を使ってコンピューターと接続する場合は、シリアルケーブルが必要です。

また、MIDI機器間でデータのやり取りを行なうためには、両方のMIDI機器の送信/受信チャンネルを合わせる必要があります。ただし、EL-200の受信チャンネルはほぼ固定になっています。したがって、外部MIDI機器でEL-200をMIDIコントロールする場合は、外部MIDI機器のチャンネルをEL-200に合わせることになります。



NOTE

MIDIメッセージについては、54ページをご参照ください。

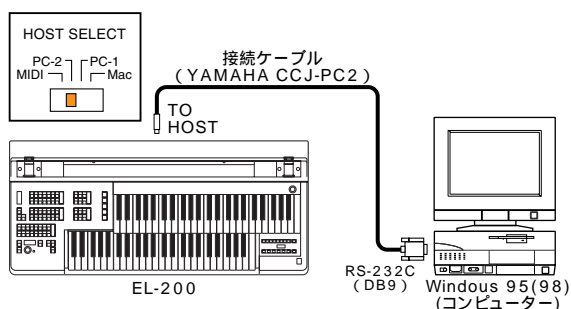
MIDIの接続

TO HOST端子を使った接続例

EL-200のTO HOST端子とコンピューターのシリアルポートを、シリアルケーブルを使って図のように接続します。また、お使いのコンピューターの種類に合わせて、HOST SELECTを切り替えます。

この接続で、MIDI IN/OUT端子を使用しなくてもEL-200とコンピューター間で直接MIDI信号を送受信することができます。

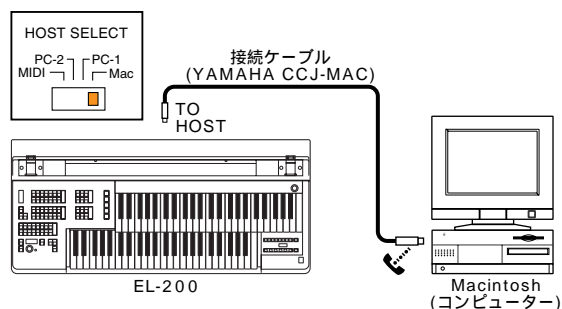
Windows 95/98をご使用の場合



NOTE

TO HOST端子を使用する場合は、MIDI端子は使用できません。

Macintoshをご使用の場合



NOTE

DOS/Vシリーズを使って、この接続で実際にMIDI信号をやり取りするためには、お使いのコンピューターに合ったMIDIドライバーが必要になります。MIDIドライバーについては、巻末のエレクトーンインフォメーションへお問い合わせください。(なお、MIDIドライバーは、インターネットのヤマハXGホームページ <<http://www.yamaha.co.jp/xg/>>でダウンロードして、直接入手することもできます。)



NOTE

PC-9801、PC-9821シリーズなどでWindows 3.1以前のバージョンをご使用の場合は、HOST SELECTをPC-1にセットしてご利用ください。

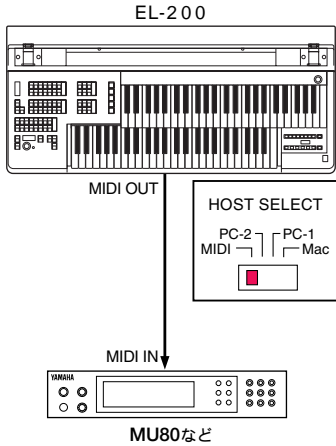


NOTE

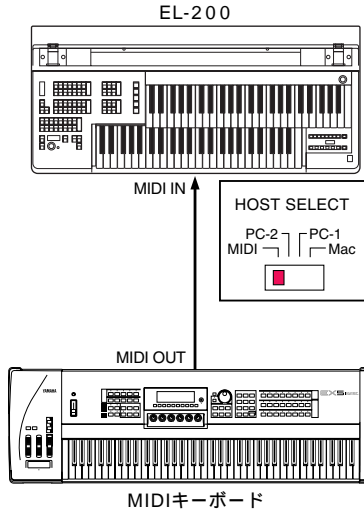
USB端子のみのコンピューターとの接続はUSBインターフェースが必要になります。

MIDI端子を使った接続例

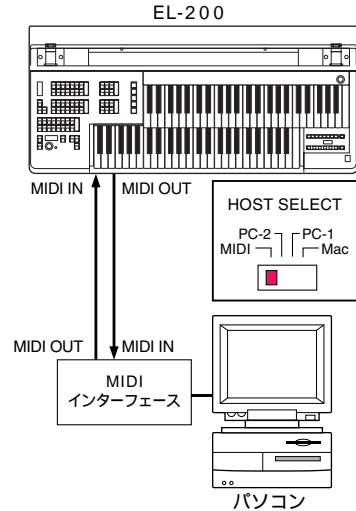
EL-200側から外部MIDI機器をコントロール



外部MIDI機器側からEL-200をコントロール



EL-200とコンピューター間でMIDIをやりとり



1 EL-200側から外部MIDI機器をコントロールする

MIDIキーボードまたはMIDI音源を接続した場合

EL-200を演奏すると、接続先の機器もその機器の音色で同時に鳴らすことができます。音に厚みを出すときなど便利です。(ただし、外部MIDI機器の受信チャンネルがEL-200の送信チャンネルと一致している必要があります。上鍵盤での演奏データは1チャンネル、下鍵盤での演奏データは2チャンネル、ペダル鍵盤での演奏データは3チャンネルで送信されます。)

この他にもいろいろな演奏の動作や状態を「メッセージ」と呼ばれるデジタルデータ(数値に置き換えたデータ)として送信することができます。接続先がメッセージを受けてどう対応するかは、接続先のMIDI機能によって決まります。

EL-200の演奏をコンピューター(シーケンサー)に記録することができます。(お使いのコンピューターにあったシーケンスソフトが必要になります。)

2 外部MIDI機器側からEL-200をコントロールする

MIDIキーボードに接続した場合

外部のMIDIキーボードで演奏すると、EL-200もEL-200の音色で同時に鳴らすことができます。(ただし、外部MIDI機器の送信チャンネルがEL-200の受信チャンネルと一致している必要があります。1チャンネルの場合は上鍵盤が、2チャンネルの場合は下鍵盤が、3チャンネルの場合はペダル鍵盤が指定した音域で演奏されます。)

外部MIDIキーボードの演奏により、EL-200をキーボードパーカッションの音で鳴らすことができます。(ただし、外部MIDI機器の送信チャンネルが15チャンネルである必要があります。)

コンピューター(シーケンサー)で再生したMIDIデータをEL-200の音色で鳴らすことができます。EL-200は、XG音源として使用することができますから、コンピューターを使った音楽制作にも便利です。XG音源として使用する方法については、57ページをご参照ください。



NOTE

(内蔵の)MDRを同時に使用することはできません。

EL-200のMIDI機能

MIDIのメッセージはチャンネルメッセージとシステムメッセージの2つに大別することができます。チャンネルメッセージは、おもに鍵盤で弾いたノート(音符)や演奏表現(エクスプレッションペダルやボリュームなど)に関するデータで、特定のMIDIチャンネルごとにそれらの情報を送受信することができます。また、システムメッセージは、複数の楽器をリンクさせて1つのMIDIシステムとして機能させるために使われるデータです。ここでは、EL-200でも扱うことができるいくつかのMIDI情報をご紹介します。

チャンネルメッセージ

キー情報

演奏に関わる最も重要な情報で、EL-200の鍵盤を弾いたときにこれらのメッセージが送信されます。また、他のキーボードやシーケンサーなどからこれらの情報を送信してEL-200を演奏させることができます。

ノートオン： このキーを押した、ということを示す情報です。弾いた音の高さを表すために半音ごとに割り当てられた0～127のノートナンバーが内部的には用いられています。演奏時にノートナンバーを意識する必要はありませんが、EL-200のC3の鍵盤を弾いたときにノートナンバー60が送信されるようになっています。

ベロシティ： 鍵盤を弾いたときのタッチの強弱を示す情報です。

ノートオフ： 鍵盤を離れた、ということを示す情報です。

EL-200のキー情報や上鍵盤、下鍵盤に対応するノートナンバーについてはMIDIインプリメンテーションチャート(68ページ)やMIDIデータフォーマット(58ページ)をご参照ください。

プログラムチェンジ

音色を切り替えるための情報です。コンピューターやシーケンサーなどからこれらのメッセージを送信して、EL-200のレジストレーションを切り替えることができます。



EL-200のレジストレーションとプログラムチェンジナンバーの対応についてはMIDIインプリメンテーションチャート(68ページ)やMIDIデータフォーマット(58ページ)をご参照ください。

コントロールチェンジ

エクスプレッションペダルなどの操作を伝えたり、エフェクトやボリュームなど、演奏表現を高めるために使われる情報です。各機能はコントロールナンバーによって区別され、それぞれのコントロール値を一般的に0～127の可変範囲で送信することができます。



EL-200で扱えるコントロールチェンジについてはMIDIインプリメンテーションチャート(68ページ)やMIDIデータフォーマット(58ページ)をご参照ください。



MDRのシフトボタンを押しながらパワースイッチをオンにすることによって、エクスプレッションペダルの機能のしかたをインターナルに設定することができます。インターナルに設定すると、MDRの再生中やMIDIの再生中に、エクスプレッションペダルによって音量をコントロールすることができます。電源をオフにすると通常の設定に戻ります。

システムメッセージ

システムエクスクルーシブメッセージ

エクスクルーシブメッセージとは、おもに機器固有のシステムや音色関係のデータをやり取りするために使われる情報です。EL-200では、エクスクルーシブメッセージを使って、レジストレーションデータをバルクダンプ(まとめて送受信)することにより、それらのデータをパソコンを使って管理することができます。いろいろなソング用に作ったレジストレーションデータを複数のファイルとして、ハードディスクなどの大容量のメディア上に保存しておき、必要に応じてパソコンからEL-200上に送信することができます。

レジストレーションデータの送受信例

それでは、以下の例を使ってレジストレーションデータを実際に送受信してみましょう。

この例では、まずシステムエクスクルーシブメッセージを使って、EL-200のレジストレーションデータを一度にすべてパソコン(シーケンサー)に送信する操作を行いません。

シリアルケーブル(またはMIDI専用ケーブル)を使って、パソコン(シーケンサー)とEL-200をMIDI接続します。(53ページをご参照ください。)



NOTE

お使いのパソコンに対応したMIDIインターフェース、エクスクルーシブメッセージの送受信に対応しているシーケンサーソフトが必要となります。

レジストレーションデータをEL-200からパソコンへ送信する

前準備(レジストレーションの登録)

1 はじめにEL-200本体で、上鍵盤を弾いたときにストリングスの音が出るようにセットしておきます。
上鍵盤ボイスのストリングスボタンを押して、ストリングスのボイスを選んでください。

2 この状態をレジストレーションボタン1に登録します。
M./TO DISK(メモリー)ボタンを押しながらナンバーボタンの1を押します。
その他のレジストレーションボタンの内容は、この例では意識する必要はありません。好きなパネル状態に登録してください。

レジストレーションデータの送信

3 パソコン(シーケンサー)からシステムエクスクルーシブメッセージを使って、全RAM送信要求データ"F0,43,70,70,10,F7"(16進)を送信します。
EL-200が全RAM送信要求データを受信すると、すべてのレジストレーションボタンに登録されているデータを自動的にパソコン側に送信します。
パソコンで受信したレジストレーションデータを1つのファイルとして保存します。パソコンを使って自由に管理することができます。



NOTE

シーケンサーの容量によっては、レジストレーションを分けて送信する必要があります。分けて送信する場合(61ページ)送信要求コードをご参照ください。

たとえば

F0,43,70,70,10,F7

を

F0,43,70,70,17,F7

に変えると、キーボードパーカッションアサインのデータを送信します。

レジストレーションデータをパソコンからEL-200へ送信し、 レジストレーションボタンを切り替える

先ほどの操作で保存したファイルをパソコンからEL-200に送信する操作を行いません。また、レジストレーションボタンを選択し、上鍵盤の音をリモートコントロールで鳴らしてみます。

レジストレーションデータの受信

1 パソコン(シーケンサー)からシステムエクスクルーシブメッセージを使って、全RAM受信要求データ"F0,43,70,70,20,F7"(16進)を送信し、続いて先ほどファイルとして保存したレジストレーションデータを送信します。

EL-200は全RAM受信要求データを受信したあと、エクスクルーシブメッセージが受信できる状態になります。その後、送られてくるすべてのレジストレーションデータを受信し、各レジストレーションボタンにセットします。この操作で、パソコンで管理しているレジストレーションデータをEL-200に戻すことができます。

レジストレーションボタンの選択

パソコンからプログラムチェンジを送信することにより、EL-200のレジストレーションボタンを切り替えることができます。

2 パソコンからプログラムチェンジ"CF,00"(16進)をEL-200に送信します。
EL-200はプログラムチェンジを受信し、自動的にレジストレーションボタンの[1] が選択されたときと同じパネル状態になります。

ノートオンの送信

3 パソコンからノートオン"90,30,7F"(16進)をEL-200に送信します。
EL-200はノートオンを受信し、上鍵盤C2の音程を鳴らします。前準備(レジストレーションの登録)でセットしておいた、ストリングスのボイスで発音します。
続いてノートオフ"90,30,00"(16進)をEL-200に送信します。

レジストレーションデータの記録/再生はMDRを利用した方がより簡単にできますが、パソコンによる管理を行なう場合、ハードディスクを使用することによって、複数のフロッピーディスクのレジストレーションデータをまとめて保存しておくことができるメリットがあります。

EL-200をXG音源として使用する

EL-200はXG規格に対応していますので、コンピューターミュージック用の音源として活用することができます。外部シーケンサーを使ってオリジナルのXGデータを作成したり、XGデータを再生したりすることができます。

EL-200の音源部は、電源を入れたときには、いつもELモードと呼ばれるエレクトーン演奏用の状態にセットされています。

パソコン(シーケンサー)からレジストレーションデータをEL-200に送信するときと同じ要領で、システムエクスクルーシブメッセージをEL-200に送信し、音源部をXGモードと呼ばれる状態にセットすれば、XG音源としての利用が可能となります。

1 パソコン(シーケンサー)からシステムエクスクルーシブメッセージを使って、XGシステムオン"F0, 43, 1N, 4C, 00, 00, 7E, 00, F7"(16進数)を送信します。

*N=デバイスナンバー(EL-200では"0")

EL-200がXGシステムオンを受信すると、音源がXGモードにセットされ、NRPN、バンクセレクトなど、XGに定義されたすべてのMIDIメッセージを受信することができる状態になります。



EL-200のMDRを使って市販のXG曲集を再生することもできます。XG曲集の再生については39ページをご参照ください。



パソコン(シーケンサー)を使ってXGデータを作成する場合は、XGシステムオンのメッセージを曲データの最初に書き込んでおくとう便利です。つくったデータをパソコン(シーケンサー)でスタートさせるだけで、自動的にEL-200をXGモードに切り替えることができます。



市販のXG曲集の場合、曲頭にXGシステムオンのメッセージが書き込まれていますので、単にXGデータを再生するだけで、EL-200は自動的にXGモードに切り替わります。

MIDIデータフォーマット

1. チャンネルメッセージ

1.1 E Lモード

コード	ファンクション	送信	受信	備考
8n,nn,00-7F	ノートオフ	x x x x x x	1 ch 2 ch 3 ch (4 ch)* 5-14 ch 15 ch	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤 リード XG キーボードパーカッション
9n,nn,00 9n,nn,01-7F	ノートオフ ノートオン	(1 ch)* (2 ch)* (3 ch)* x x x	1 ch 2 ch 3 ch (4 ch)* 5-14 ch 15 ch	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤(ノートオンの送信ベロシティ=50H) リード XG キーボードパーカッション
Bn,00,00-7F Bn,20,00-7F	バンクセレクト	x	5-14 ch	XG
Bn,01,00-7F	モジュレーション	x	5-14 ch	XG
Bn,04,00-7F	セカンドエクスプレッション	x x	16 ch (4 ch)*	コントロール リード
Bn,05,00-7F	ポルタメントタイム	x	5-14 ch	XG
Bn,06,00-7F Bn,26,00-7F	データエンタリー	x	5-14 ch	XG
Bn,07,00-7F	ボリューム	x	5-14 ch	XG
Bn,0A,00-7F	パン	x	5-14 ch	XG
Bn,0B,00-7F	エクスプレッション	16 ch	16 ch 5-14 ch	コントロール XG
Bn,40,00-7F	ホールド	x	5-14 ch	XG
Bn,41,00-7F	ポルタメント	x	5-14 ch	XG
Bn,42,00-7F	ソステヌート	x	5-14 ch	XG
Bn,43,00-7F	ソフトペダル	x	5-14 ch	XG
Bn,47,00-7F	レゾナンス	x	5-14 ch	XG
Bn,48,00-7F	リリースタイム	x	5-14 ch	XG
Bn,49,00-7F	アタックタイム	x	5-14 ch	XG
Bn,4A,00-7F	ブライツネス	x	5-14 ch	XG
Bn,54,00-7F	ポルタメントコントロール	x	5-14 ch	XG
Bn,5B,00-7F	リバースセンドレベル	x	5-14 ch	XG
Bn,5D,00-7F	コーラスセンドレベル	x	5-14 ch	XG
Bn,5E,00-7F	バリエーションエフェクトセンドレベル	x	5-14 ch	XG
Bn,60,00-7F Bn,61,00-7F	データインクリメント データデクリメント	x	5-14 ch	XG
Bn,62,00-7F Bn,63,00-7F	NRPN LSB NRPN MSB	x	5-14 ch	XG
Bn,64,00-7F Bn,65,00-7F	RPN LSB RPN MSB	x	5-14 ch	XG
Bn,78,00 Bn,79,00 Bn,7B,00 Bn,7C,00 Bn,7D,00 Bn,7E,00 Bn,7F,00	オールサウンドオフ リセットオールコントローラ オールノートオフ オムニオフ オムニオン モノ ポリ	x	5-14 ch	XG

コード	ファンクション	送信	受信	備考
Cn,nn	プログラムチェンジ	x	1ch	上鍵盤
		x	2ch	下鍵盤
		x	3ch	ペダル鍵盤
		x	5-14ch	XG
		16ch	16ch	コントロール
Dn,00-7F	アフタータッチ	(1ch)*	1ch	上鍵盤
		(2ch)*	2ch	下鍵盤
		x	3ch	ペダル鍵盤
			(4ch)*	リード
			5-14ch	XG
En,00-7F,00-7F	ピッチベンド	x	5-14ch	XG

*MIDI設定で変更。

1.2 XGモード

コード	ファンクション	送信	受信	備考
8n,nn,00-7F	ノートオフ	x	1-16ch	
9n,nn,00	ノートオフ	(1ch)		上鍵盤
9n,nn,01-7F	ノートオン	(2ch)* (3ch)*		下鍵盤 ペダル鍵盤(ノートオンの送信ベロシティ=50H)
			1-16ch	
Bn,00,00-7F	バンクセレクト	x	1-16ch	
Bn,20,00-7F				
Bn,01,00-7F	モジュレーション	x	1-16ch	
Bn,04,00-7F	セカンドエクスプレッション	x	x	コントロール
		x	x	リード
Bn,05,00-7F	ポルタメントタイム	x	1-16ch	
Bn,06,00-7F	データエントリー	x	1-16ch	
Bn,26,00-7F				
Bn,07,00-7F	ボリューム	x	1-16ch	
Bn,0A,00-7F	パン	x	1-16ch	
Bn,0B,00-7F	エクスプレッション	16ch	1-16ch	コントロール
Bn,40,00-7F	ホールド	x	1-16ch	
Bn,41,00-7F	ポルタメント	x	1-16ch	
Bn,42,00-7F	ソステヌート	x	1-16ch	
Bn,43,00-7F	ソフトペダル	x	1-16ch	
Bn,47,00-7F	レゾナンス	x	1-16ch	
Bn,48,00-7F	リリースタイム	x	1-16ch	
Bn,49,00-7F	アタックタイム	x	1-16ch	
Bn,4A,00-7F	ブライツネス	x	1-16ch	
Bn,54,00-7F	ポルタメントコントロール	x	1-16ch	
Bn,5B,00-7F	リバーブセンドレベル	x	1-16ch	
Bn,5D,00-7F	コーラスセンドレベル	x	1-16ch	
Bn,5E,00-7F	バリエーションエフェクトセンドレベル	x	1-16ch	
Bn,60,00-7F	データインクリメント	x	1-16ch	
Bn,61,00-7F	データデクリメント			
Bn,62,00-7F	NRPN LSB	x	1-16ch	
Bn,63,00-7F	NRPN MSB			
Bn,64,00-7F	RPN LSB	x	1-16ch	
Bn,65,00-7F	RPN MSB			

コード	ファンクション	送信	受信	備考
Bn,78,00	オールサウンドオフ	x	1-16ch	
Bn,79,00	リセットオールコントローラー			
Bn,7B,00	オールノートオフ			
Bn,7C,00	オムニオフ			
Bn,7D,00	オムニオン			
Bn,7E,00	モノ			
Bn,7F,00	ポリ			
Cn,00-7F	プログラムチェンジ	16ch 1-16ch	コントロール	
Dn,00-7F	アフタータッチ	(1ch)* (2ch)* x	1-16ch	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤
En,00-7F,00-7F	ピッチベンド	x	1-16ch	

*MIDI設定で変更。

2. リアルタイムメッセージ

コード	ファンクション	送信	受信	備考
F8	クロック		*	
FA	スタート			
FC	ストップ			
FE	アクティブセンス			
FF	リセット	x	x	

*外部同期モードのみ。

3. エクスクルーシブメッセージ

3.1 フォーマット

ユニバーサルリアルタイムメッセージ

コード	メッセージ	送信	受信
F0,7F,7F,04,01,SS,TT,F7 XN	XGマスターボリューム	x	

ユニバーサルノンリアルタイムメッセージ

コード	メッセージ	送信	受信
F0,7E,7F,09,01,F7 XN	GM ON	x	

XGネイティブ

コード	メッセージ	送信	受信
F0,43,1N,4C,AH,AM,AL,..data,..F7	XGパラメーターチェンジ	x	
F0,43,0N,4C,BH,BL,AH,AM,AL,..data,..cc,F7	XGバルクダンプ	x	
F0,43,1N,27,30,00,00,MM,LL,cc,F7	XGマスターチューニング	x	
F0,43,1N,4C,00,00,7E,00,F7	XGシステム ON	x	

エレクトーン/シングルキーボード共通メッセージ

コード	メッセージ	送信	受信
F0,43,73,01,02,F7 03	内部同期モード要求	x	
	外部同期モード要求	x	

エレクトーンエクスクルーシブ

コード	メッセージ	送信	受信
F0,43,70,70,00,...データ...F7 78 ID	バルクダンブデータ	x	
F0,43,70,70,00,F7	モデルIDデータ		x
F0,43,70,70,nn(*1),F7 78 ID	データ送信要求	x	
F0,43,70,70,nn(*2),F7 78 ID	データ受信要求	x	
F0,43,70,70,01,....データ....F7 78 ID	音色パラメーター送信要求	x	
F0,43,70,70,02,....データ....F7 78 ID	音色パラメーター受信要求	x	
F0,43,70,70,30,F7	モデルID送信要求	x	
F0,43,70,70,38,7F,F7 00	バルクダンブアクノリッジ バルクダンブアンアクノリッジ	x	x x
F0,43,70,70,40,nn(*3),7F,F7 00	スイッチON スイッチOFF		
F0,43,70,70,40,50,TL,TH,F7	テンポ		
F0,43,70,78,41,cd,dd,F7(*4)	パネルスイッチイベント		
F0,43,70,78,42,...データ...F7	カレントレジストレーションデータ		
F0,43,70,78,44...データ...(*5),F7	EL MIDIパラメーター		
F0,43,70,70,70,nn(*6),F7	外部MDR	x	
F0,43,70,70,73,F7	EL ON	x	
F0,43,70,70,78,SC,NC,F7	バーシグナル		

X : don't care N : Device Number(EL-200では' 0 'のみ) ID=4A

* 1 送信要求コード

nn	データ
10	全RAMデータ
11	レジストレーションデータ
12	リズムシーケンスデータ
14,15	ユーザーパターンデータ
16	ユーザーボイス
17	キーボードパーカッションアサイン

* 2 受信要求コード

nn	データ
20	全RAMデータ
21	レジストレーションデータ
22	リズムシーケンスデータ
24,25	ユーザーパターンデータ
26	ユーザーボイス
27	キーボードパーカッションアサイン

* 3 スイッチ

nn	スイッチ	送信	受信
45	レフトフットスイッチ		
47	ニーレバー		
48	フィルイン1		
4B	イントロ/エンディング		

*4 スイッチコード一覧

セレクター

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
02	アッパーボイス1セレクター		[02-0D]		[00-0D]	スイッチナンバー
03	ローボイス1セレクター		[02-0D]		[00-0D]	スイッチナンバー
04	アッパーボイス2セレクター	×			[00-0D]	スイッチナンバー
05	ローボイス2セレクター	×			[00-0D]	スイッチナンバー
06	リードボイスセレクター		[01-04]		[00-04]	スイッチナンバー
07	ペダルボイス1セレクター		[01-04]		[00-04]	スイッチナンバー
08	ペダルボイス2セレクター	×			[00-04]	スイッチナンバー
0B	リズムセレクター		[02-0B]		[00-0B]	スイッチナンバー
0F	レジストレーションメモリ	×			[00-0F]	

ボリューム

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
12	アッパーボイス1ボリューム		[00-7F]		[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX,7F:MIN
13	ローボイス1ボリューム		[00-7F]		[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX,7F:MIN
14	アッパーボイス2ボリューム	×			[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX,7F:MIN
15	ローボイス2ボリューム	×			[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX,7F:MIN
16	リードボイスボリューム		[00-7F]		[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX,7F:MIN
17	ペダルボイス1ボリューム		[00-7F]		[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX,7F:MIN
18	ペダルボイス2ボリューム	×			[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX,7F:MIN
1A	リズムボリューム		[00-7F]		[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX,7F:MIN
1B	リバーブボリューム		[00-7F]		[00-7F]	デプスデータ 00:MAX,7F:MIN

トゥーロー

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
36	リードボイストゥーロー		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON
37	ペダルボイス1トゥーロー		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON
38	ペダルボイス2トゥーロー	×			[00-01]	00:OFF,01:ON

ブリリアンス

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
42	アッパーボイス1ブリリアンス	×			[00-06]	00:ブリリアント,06:メロー
43	ローボイス1ブリリアンス	×			[00-06]	00:ブリリアント,06:メロー
44	アッパーボイス2ブリリアンス	×			[00-06]	00:ブリリアント,06:メロー
45	ローボイス2ブリリアンス	×			[00-06]	00:ブリリアント,06:メロー
46	リードボイスブリリアンス	×			[00-06]	00:ブリリアント,06:メロー
47	ペダルボイス1ブリリアンス	×			[00-06]	00:ブリリアント,06:メロー
48	アッパーボイス2ブリリアンス	×			[00-06]	00:ブリリアント,06:メロー

サステイン

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
50	アッパーサステイン		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON
51	ローサステイン		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON
52	ペダルサステイン		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON

キーボードパーカッション

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
5B	ローキーボードパーカッション		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON
5C	ペダルキーボードパーカッション		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON

ディスエーブル

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
5F	ディスエーブル		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON

トレモロ

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
60	トレモロ		[00-01]		[00-01]	00:SLOW,01:FAST

リズムシーケンス

コード	スイッチ	送信	送信値	受信	受信値	備考
61	シーケンス1		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON
62	シーケンス2		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON
63	シーケンス3		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON
64	シーケンス4		[00-01]		[00-01]	00:OFF,01:ON

* 5 EL MIDIパラメーター

音群パラメーター
オーケストラ音群パラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
00	00-04, 06, 07	00-0D	2	00-7F	音色アサインナンバーH		x		[00-7F]	
				00-7F	音色アサインナンバーL		x		[00-7F]	
00	00-04, 06, 07	10	1	00-0D	音色セレクトナンバー		x		[00-0D]	
00	00-04, 06, 07	11	1	00-7F	ボリューム	00:MIN 7F:MAX	x		[00-7F]	
00	00-04, 06, 07	12	1	00-7F	リバーブセンドレベル	00:MIN 7F:MAX	x		[00-7F]	
00	00-04, 06, 07	13	1	00-7F	ブリリアンス	00:Brilliant 40:Center 7F:Mellow	x		[00-0A] [0B-1F] [20-35] [36-4A] [4B-5F] [60-75] [76-7F]	
00	00-04, 06, 07	14	1	00-04	フィート	00:Preset 01:16Feet 02:8Fee 03:4Feet 04:2Feet	x		[00][06-7F] [01] [02] [03] [04]	
00	00-04, 06, 07	15	1	00-7F	パン	00:Right 40:Center 7F:Left	x		[00-11] [12-25] [26-31] [32-4E] [4F-5A] [5B-6E] [6F-7F]	
00	00-04, 06, 07	16	1	00-7F	イニシャルタッチセンス	00:浅い 7F:深い	x		[00-7F]	
00	00-04, 06, 07	17	1	00-7F	アフタータッチセンス	00:浅い 7F:深い	x		[00-7F]	
00	00-04, 06, 07	19	1	00-01	ユーザーピブラート	00:PRESET 01:USER	x		[00] [01-7F]	
00	00-04, 06, 07	1A	1	02-1A	ピブラートディレイ	00:Short 7F:Long	x		[00-7F]	
00	00-04, 06, 07	1B	1	00-54	ピブラートデプス	00:MIN 7F:MAX	x		[00-7F]	
00	00-04, 06, 07	1C	1	3C-6C	ピブラートスピード	00:Slow 7F:Fast	x		[00-7F]	
00	00-04, 06, 07	1E	1	00-7F	タッチピブラートON/OFF	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	
00	04, 06, 07	1F	1	00-01	TO LOWER	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	
00	04	20	1	00-02	スライド	00:OFF 01:ON 02:KneeControl	x		[00] [01] [02]	
00	04	21	1	02-7F	スライドスピード	02:Slow 7F:Fast	x		[00-7F]	
00	04	22	1	00-24	ディチューン	00:Normal 24:TuneUP	x		[00-7F]	
00	00-07 00, 01, 04, 06, 07	23	1	00-01	セカンドエクスプレッション	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	
00	00-04	24	1	00-01	グライド	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	

音群エフェクトパラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
00-01	00-04, 06, 07	3F	1	00-05	エフェクトセレクト	00:Preset 01:OFF 02:Tremolo 03:Symphonic 04:Delay 05:Flanger 06:Distortion	x		[00][07-F] [01] [02] [03] [04] [05] [06]	
00-01	00-04, 06, 07	40-42	1	00-7F	リバーブパラメーター		x		[00-7F]	
00-01	00-04, 06, 07	48-4A	1	00-7F	トレモロパラメーター		x		[00-7F]	
00-01	00-04, 06, 07	50	1	00-7F	シンフォニックパラメーター		x		[00-7F]	
00-01	00-04, 06, 07	58-5B	1,2	00-7F	ディレイパラメーター		x		[00-7F]	
00-01	00-04, 06, 07	60-62	1	00-7F	フランジャーパラメーター		x		[00-7F]	
00-01	00-04, 06, 07	68-69	1	00-7F	ディストーションパラメーター		x		[00-7F]	

鍵盤パラメーター

サステインパラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
02	00-02	00	1	00-01	サステインON/OFF	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	
02	00-02	01	1	00-0C	サステインレンジ	00:Short 0C:Long	x		[00-7F]	

キーボードパーカッションパラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
02	01-02	10	1	00-01	キーボードパーカッション	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	
02	01-02	11	1	00-08	キーボードパーカッションモード	00:Preset 01-08:UserAssign1-8	x		[00] [01-08]	

鍵盤エフェクトパラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
02	00-02	40-42	1		リバーブパラメーター		x		[00-7F]	
02	00-02	48-4A	1		トレモロパラメーター		x		[00-7F]	
02	00-02	50	1		シンフォニックパラメーター		x		[00-7F]	
02	00-02	58-5B	1,2		ディレイパラメーター		x		[00-7F]	
02	00-02	60-62	1		フランジャーパラメーター		x		[00-7F]	
02	00-02	68-69	1		ディストーションパラメーター		x		[00-7F]	

リズム

リズムパラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
03	00	00-0B	1	00-65 67-98	パターンアサインナンバー	パターンナンバー	x		[00-62]	
03	00	10	1	00-0B	パターンセレクトナンバー	セレクトのスイッチ番号	x		[00-0B]	
03	00	11	1	00-7F	ボリューム	00:MIN 7F:MAX	x		[00-7F]	
03	00	12	1	00-7F	リバーブセンドレベル	00:MIN 7F:MAX	x		[00-7F]	
03	00	14	1	00-01	オートバリエーション	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	
03	00	15	1	00-7F	リズムバランス	00:Cymbal 40:Center 7F:Drums	x		[00-7F]	
03	00	16	1	00-01	セカンドエクスプレッション テンポコントロール	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	
03	00	17	1	00-03	フットスイッチリズムモード	00:OFF 01:RhythmStop 02:Ending 03:FillIn	x		[00][04-7F] [01] [02] [03]	

リズムシーケンスパラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
03	01	00-03	1	00-01	リズムシーケンス	00:OFF 01:ON	×		[00] [01-7F]	

アカンパニメントパラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
03	02	10	1	00-03	パターンセレクトナンバー	00:Type1 01:Type2 02:Type3 03:Type4	×		[00] [01] [02] [03]	
03	02	11	1	00-01	ボリュームミュート	00:OFF 01:MUTE	×		[00] [01-7F]	
03	02	12	1	00-7F	ボリューム	00:MIN 7F:MAX	×		[00-7F]	
03	02	13	1	00-7F	リバーブセンドレベル	00:MIN 7F:MAX	×		[00-7F]	

A.B.C.設定パラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
03	03	00	1	00-03	A.B.C.モード	00:OFF 01:SingleFinger 02:Fingerd 03:CustomABC	×		[00][04-7F] [01] [02] [03]	
03	03	01	1	00-01	LKメモリ	00:OFF 01:ON	×		[00] [01-7F]	
03	03	02	1	00-01	PKメモリ	00:OFF 01:ON	×		[00] [01-7F]	

M.O.C.設定パラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
03	04	00	1	00-03	M.O.C.モード	00:OFF 01:Close2Note 02:Close3Note 03:PassBOpen	×		[00][04-7F] [01] [02] [03]	
03	04	01	1	00-01	M.O.C.ニークontrol	00:OFF 01:ON	×		[00] [01-7F]	

全体
全体パラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
04	00	00	1	00-01	デイスエーブル	00:OFF 01:ON	x		[00] [01-7F]	
04	00	01	1	00-01	フルトカブラーアタックモード	00:EachKey 01:FirstNewKey	x		[00] [01-7F]	
04	00	02	1	3A-46	トランスポーズ	3A:KeyDown 40:Normal 46:KeyUp	x		[3A] [40] [46]	
04	00	03	1	00-0B	セカンドエクスプレッション変化幅	01:100¢ 0C:1200¢	x		[01-0C]	
04	00	04	1	00-03	フットスイッチモード	00:OFF 01:Rhythm 02:Glide 03:Tremolo	x		[00][04-7F] [01] [02] [03]	
04	00	05	1	3C-4F	ピッチ	3C:PitchDown 40:Normal 4F:PitchUp	x		[3C-4F]	
04	00	06	1	00-04	グライドスピード	01:Slow 05:Fast	x		[00-7F]	
04	00	07	1	34-4C	マニュアルバランス	34:Upper 40:Center 4C:Lower	x		[00-7F]	
04	00	09	1	00-01	LIT	00:Mode1 01:Mode2	x	x	[00] [01]	
04	00	0A	1	00-01	EXPRESSION INT/EXT	00:Internal 01:External	x		[00][02-7F] [01]	

全体エフェクトパラメーター

Address			Size	Data	パラメーター	データ	送信	受信	受信値	備考
04	00	40-42	1		リバーブパラメーター		x		[00-7F]	
04	00	48-4A	1		トレモロパラメーター		x		[00-7F]	
04	00	50	1		シンフォニックパラメーター		x		[00-7F]	
04	00	58-5B	1,2		ディレイパラメーター		x		[00-7F]	
04	00	60-62	1		フランジャーパラメーター		x		[00-7F]	
04	00	68-69	1		ディストーションパラメーター		x		[00-7F]	

* 6 外部MDR

nn	コマンド	送信	受信
01	プレイスタート	x	
02	プレイストップ	x	
03	レコードスタート	x	
04	レコードストップ	x	
09	リズムポインターリセット	x	

MIDIインプリメンテーションチャート

YAMAHA [Electone-EL mode] / Model: EL-200

Date:28. Mar.2000
Version: 1.00

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1, 2, 3, 16チャンネル ¹ 1-16	1-3, 5-16チャンネル ² 4チャンネル	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 × ×	
ノートナンバー	音域	36-96 ³ *****	0-127 ⁴	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH, v=1-127 ○ 9nH, v=0	○ 9nH, v=1-127 ○ 9nH, v=0, 8nH	ペダルベロシティ 送信は80固定
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ○	× ○	ペダル鍵盤は 送信しない
ピッチベンダー		×	○ ⁶	
コントロールチェンジ	0, 32 1, 5, 7, 10 4 6, 38 11 96, 97 64-67 71-74 84, 91, 93, 94 98-99, 100-101 120, 121	× × × × ○ ⁷ × × × × × × ×	○ ⁶ ○ ⁶ ○ ⁷ ○ ⁶ ○ ^{6,7} ○ ⁶ ○ ⁶ ○ ⁶ ○ ⁶ ○ ⁶ ○ ⁶ ○ ⁶	バンクセレクト セカンドエクスプレッションペダル データエントリー エクスプレッションペダル データエントリー-SW サウンドコントローラー NRPN, RPN
プログラムチェンジ	設定可能	○ ⁹ *****	○ ¹⁰	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	○ ○	○ ⁸ ○	(FAH, FCH)
その他	ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	× ○(123-127) ⁶ ○ ×	
備考	¹ 1チャンネル:上鍵盤、2チャンネル:下鍵盤、3チャンネル:ペダル鍵盤、16チャンネル:コントロール ² 1チャンネル:上鍵盤、2チャンネル:下鍵盤、3チャンネル:ペダル鍵盤、4チャンネル:リードボイス1、5-14チャンネル: XG、15チャンネル:キーボード ³ 上鍵盤:48-96、下鍵盤:36-84、ペダル鍵盤:36-55 ⁴ 上鍵盤:下鍵盤、ペダル鍵盤、リードボイス:36-96、XG:0-127、パーカッション:3-127 ⁵ 上鍵盤:アッパーキーボードホリゾンタルタッチ、下鍵盤:ロワーキーボードホリゾンタルタッチ ⁶ XGのみ ⁷ コントロールのみ ⁸ エクスターナルモードのみ ⁹ コントロール:0-15、112-116 ¹⁰ 上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤、コントロール:0-15、112-116、XG:0-127			

モード1:オムニ・オン、ポリ
モード3:オムニ・オフ、ポリ

モード2:オムニ・オン、モノ
モード4:オムニ・オフ、モノ

○: あり
×: なし

ファンクション		送信 11	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1, 2, 3, 16チャンネル 1-16	1-16チャンネル 1-16チャンネル	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 × ×	
ノートナンバー	音域	36-96 *****	0-127	
ペロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH, v=1-127 ○ 9nH, v=0	○ 9nH, v=1-127 ○ 9nH, v=0, 8nH	ペダルペロシティ 送信は80固定
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ○	× ○	
ピッチベンダー		×	○	
コントロールチェンジ	0, 32 1, 5, 7, 10 4 6, 38 11 96, 97 64-67 71-74 84, 91, 93, 94 98-99, 100-101 120, 121	× × × × ○ × × × × × × ×	○ ○ × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト データエントリー エクスプレッションペダル データエントリー-SW サウンドコントローラー NRPN, RPN
プログラムチェンジ	設定可能	○ 0-15, 112-116 *****	○	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	○ ○	× ×	
その他	ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	× ○(123-127) ○ ×	
備考	11 ELモードと同じ			

モード1:オムニ・オン、ポリ
モード3:オムニ・オフ、ポリ

モード2:オムニ・オン、モノ
モード4:オムニ・オフ、モノ

○: あり
×: なし

故障かな?と思ったら

現象	原因と対処
楽器全般	
時々ガリッとかポツンという雑音が入る。	近くで電気器具の電源をオン/オフしたり、電気ドリルなどを使用している場合は、雑音が入ることがあります。原因と思われる機器から、なるべく離れたコンセントを使ってください。また、原因不明の場合は、サービスセンターまでご相談ください。
ラジオやテレビ、無線などの電波が入る。	近くに大電力の放送局やアマチュア無線局があるためです。どうしても気になる場合は、サービスセンターまでご相談ください。
エレクトーンから雑音が出る。	エレクトーンの近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)ためです。エレクトーンの近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。エレクトーンの近くでは携帯電話の電源を切ってください。
ラジオやテレビなどに雑音が入ることがある。	エレクトーンのすぐ近くにラジオやテレビを置くと、雑音が入ることがあります。できるかぎり離してご使用ください。
音が周囲のものを共鳴させてびりつく。	エレクトーンの音は持続音が多いため、周囲の戸棚やガラスなどの家具類を共鳴させることがあります。気になる場合は、家具類の配置を一工夫するか、エレクトーンの音量を小さくしてください。
ボリュームを最大にセットしても、音が小さすぎる。	音量ダイヤルが最小近くになっています。時計回りに回してください。 エクスペッションペダルが踏み込まれていません。ペダルを踏み込んでください。
コントロールパネル等が正常に働かない。 または、メモリーしていた情報が変わってしまう。	非常にまれなことですが、落雷などにより異常電圧が流れ、エレクトーンが正常に機能しなくなったり、メモリーしていた情報が変わったりすることがあります。このような場合は、いったん電源スイッチを切り、キーボードパーカーション2(ペダル)ボタンを押しながら、電源スイッチをもう一度入れてください(パワーオンリセット)。それでも正常に働かない場合は、サービスセンターまでご相談ください。
音色/リズム	
選んだ音色によって、鍵盤位置による音量のばらつきがある。	一般に電子楽器は、音色を変えるという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量ばらつきをなくすことは非常に困難です。エレクトーンはどの音色でも演奏上問題の無いように設計、調整されていますが、設置場所や聞く位置によって音量や音色が異なることがあります。どうしても気になる場合は、サービスセンターまでご相談ください。
ペダル鍵盤ではピッチが高く、上/下鍵盤の高音部ではピッチが低く感じられる。	特にピアノと比較した場合に感じることです。ピアノでは倍音構成が複雑なため、高音と低音の調律は実音での調律ができず、倍音を聞いて調律しています。エレクトーンの場合は逆に実音で調律していますから、ピアノとエレクトーンでは、高音と低音の調律自体が本質的に違うわけです。
割れるような感じや、ノイズが入るような感じのする音色がある。	おもに管楽器の音色で感じることです。これは実際の楽器音の特長を再現するため、意図的に組み込まれた音色効果です。プラスの振動やブレスノイズなど、よりリアルな特徴をそなえた音色が得られます。
複数の鍵盤を押さえたとき、鳴らない音がある。	上鍵盤または下鍵盤では、上/下鍵盤合わせて最大12音まで同時に発音するようになっています。この同時発音数を超えると、音が鳴らない場合が生じます。
ペダル鍵盤またはリードボイスを同時に2音押さえても、1音しか発音しない。	ペダル鍵盤またはリードボイスでは、それぞれ同時に1音しか発音しないようになっています。同時に2音以上押さえた場合は、高音が優先されます。
音群のボリュームを0にしても鍵盤から音が出る。	上位機種で作られたレジストレーションを再生したとき、EL-200では操作できない音群のボリュームが上がっていて、音が出る場合があります。

現象	原因と対処
音色/リズム	
ボリュームをセットしても、ペダル鍵盤の音色が発音しない。	ペダルボタンのT0 LOWER(トゥーロー)ボタンがオンになっています。ボタンをオフにしてください。
下鍵盤またはペダル鍵盤を押さえるとリズム楽器の音と一緒に発音する。	キーボードパーカッションがオンになっています。キーボードパーカッションを使用しないときはオフにしてください。
リバーブ	
パネル左端のリバーブボリュームを上げたが、かけたい音群にリバーブがかからない。	かけたい音群のリバーブが0に設定されています。EL-400などのデータを読み込んだ場合、音群のリバーブが0に設定されているとリバーブがかかりません。
レジストレーションメモリー	
レジストレーションに記憶されない機能がある。	次の機能は記録されないようになっています。リズムのスタート、シンクロスタート、フィルイン、イントロ/エンディングなどの各スイッチ機能、MDRセレクトボタンなど。47ページもご参照ください。
トゥーディスクの操作をしたらエラー表示になり、データが移らない。	操作が不適切であるか、フロッピーディスクのライトプロテクトタブがオンになっています。操作方法などを確認してください。
基本レジストレーションを押すと“ピッ”と音がした。	EL-900/700/500で作ったレジストレーションをMDRで読み込み、シーケンスデータやリズムインストゥルメントが初期設定と違っている場合、基本レジストレーションボタンを押すと初期設定に戻し、“ピッ”と鳴らしてお知らせします。
MDR	
録音/再生ができない。	鍵盤ごとの録音/再生のパート選択ボタンがオフになっています。録音/再生したいパートのボタンを押してオンにしてください。
40ソングまでデータの録音/記録ができない。	ひとつのソングに記録したデータの量が多い場合、メモリー残量が足りなくなることがあります。メモリー残量をご確認ください。
演奏が終わる前に録音がストップしてしまった。	メモリー残量が足りない場合:別のディスクを使用してください。 既に録音してあるソングナンバーに録音する場合:録音する曲の長さが前の曲の長さになっています。前の曲をデリートしてから、録音しなおしてください。
録音開始時にリズムがスタートしなかったり、スタートさせたリズムがストップしてしまう。	録音開始時にリズムがスタートした場合、リズムをストップさせる仕様になっています。リズムを使用する場合は、デジタルディスプレイの表示が--からメモリー残量表示に切り替わった後でスタートさせてください。
再生されていたエレクトーンの音が鳴りっぱなしになった。	イジェクトボタンを押してディスクを取り出したためです。停止ボタンを押して再生をストップしてから、ディスクを取り出して、電源を切るようにしてください。

EL-200 仕様

鍵盤	上鍵盤：49鍵(C-C)、下鍵盤：49鍵(C-C)、ペダル：20鍵(C-G)	
タッチトーン	上鍵盤ボイス、下鍵盤ボイス、リードボイス、ペダル(外部MIDIコントロールのみ)	
音色	音源	AWM・FM
	上鍵盤ボイス 下鍵盤ボイス	ストリングス；ブラス；クラリネット；サクソフォン；コーラス；オルガン；ピアノ；ギター； ビブラフォン；コズミック；トゥッティ；[上鍵盤ボイス]ハーモニカ；[下鍵盤ボイス]ホルン；ボリューム
	リードボイス	バイオリン；フルート；オーボエ；トランペット；トゥーローボタン；ボリューム
	ペダルボイス	コントラバス；エレキベース；オルガンベース；チューバ；トゥーローボタン；ボリューム
エフェクト	リバーブ	デプス
	サステイン	上鍵盤(二一)、下鍵盤(二一)、ペダル：オン/オフ
リズム	リズム	マーチ；ワルツ；スイング；パウンス；スローロック；タンゴ；ラテン1；ラテン2；8ビート；16ビート； ボリューム
	バリエーション	フィルイン、イントロ/エンディング、タクト、オートバリエーション；オン/オフ
	コントロールその他	スタート、シンクロスタート、テンポ：バー/ビートディスプレイ
	リズムシーケンス(タクト)	オン/オフ、シーケンス1～4
キーボードパーカッション	下鍵盤、ペダル オン/オフ	
基本レジストレーション	1～5	
レジストレーションメモリー	M.(メモリー)/トゥーディスク、1～8、D.(ディスプレイ)ボタン	
ミュージックディスクレコーダー	再生/録音：上鍵盤、下鍵盤、ペダル、コントロール、リード、キーボードパーカッション；一時停止、 停止、早送り、巻戻し、ソングセレクト、シフト、カスタムプレイ、テンポ；フォーマット、 リード&オートインクリメント、ソングリピート、ソングデリート、ソングコピー：フロム/トゥー、 ディスクコピー、パンチイン録音、XG再生、メモリー残量；デジタルディスプレイ、イジェクト	
フットスイッチ コントロール	左フットスイッチ	リズム(ストップ)
	右フットスイッチ	レジストレーションシフト
ニールバーコントロール	オン/オフ：サステイン(アッパー、ロー)	
コントロール	パワーオン/オフ、エクスプレッションペダル(左/右フットスイッチ)、音量	
その他の装備	キーボードカバー/譜面板、MIDIイン/アウト端子、ヘッドフォンジャック、リズムイン端子(フーン；L/R)、 AUXアウト端子(RCA；L/R)、トゥーホスト端子、ホストセレクト	
付属品	ELはじめてディスク(×1)、2HD 3.5"フロッピーディスク(×1)、椅子、取扱説明書、 ELはじめてマニュアル、保証書、愛用者カード	
オプション	HPE-170ステレオヘッドフォン、3.5"フロッピーディスク(2HD/2DD)	
サウンドシステム	アンプ	35W
	スピーカー	[2ウェイ]ウーファー 16cm、ツイーター 5cm、モニタースピーカー x 2
定格電圧・消費電力・周波数	100V、55W、50/60Hz	
サイズ	[本体]間口1,077mm、奥行き460.5mm、高さ947mm(キーカバーを立てた時 1,183mm) [椅子]間口595mm、奥行き295mm、高さ580mm	
質量	[本体]53.5kg、[椅子]7.0kg	

*仕様および外観は、改良のため、予告無く変更することがあります。

索引

A

AUX. OUT端子 51

D

D.(ディスク)ボタン 25

H

HEADPHONES端子 51

HOST SELECT 51

M

M./TO DISK(メモリー)ボタン 25

MDR 28

MIDI 52

MIDI端子 51

P

POWERスイッチ 10

R

RHYTHM IN端子 51

T

TO HOST端子 51

TO LOWER 14

ア

アサイン 23

イ

イジェクトボタン 28

一時停止 42

イントロ 18

ウ

上鍵盤ボイス 13

エ

エクスペッションペダル 10

エフェクト 17

演奏データ 33

エンディング 18

オ

音群 13

音色 13

音量ダイヤル 10

カ

カスタムブレイ 41

キ

キーボードパーカッション 22

基本レジストレーション 11

コ

コピープロテクト 47

コントロール 17

コントロールデータ 33

サ

再生 39

再生テンポ 42

再生ボタン 31

サステイン 17

シ

下鍵盤プリセット 23

下鍵盤ボイス 13

シフトボタン 30

シャッター 29

出力端子 51

シンクロスタート 18

ス

スタート 18

ストップ(MDR) 32

ストップ(リズム) 18

ソ

ソングコピー 43

ソングセレクトボタン 31

ソングデリート 45

ソングリピートボタン 40

タ

タクト 19

テ

データの読み込み 47

停止ボタン 32

ディスク(D.)ボタン 25

ディスクコピー 45

デジタルディスプレイ 30

テンポ(MDR) 42

テンポ(リズム) 19

テンポダイヤル 19

ト

トゥーロー 14

ニ

ニールバー 49

入力端子 51

ハ

バー/ビート	19
パート再生	40
パート録音	34
早送り	42
パワーオンリセット	27
パワースイッチ	10
パンチイン録音	36

フ

フィルイン	20
フォーマット	30
付属端子	51
フットスイッチ	49
フットスイッチ(左)	49
フットスイッチ(右)	27
フロッピーディスク	28
フロッピーディスク挿入口	28

ヘ

ペダル鍵盤プリセット	23
ペダルボイス	13
ヘッドフォン端子	51

ホ

ポーズ	42
ボイスセクション	13
ボイスリスト	15
ホストセレクト	51
保存	26

マ

巻戻し	42
-----------	----

ミ

ミュージックディスクレコーダー(MDR)	28
----------------------------	----

メ

メトロノーム	20
メモリー残量	46
メモリーボタン	25

ユ

ユーザランプ	28
--------------	----

ラ

ライトプロテクトタブ	29
ライン出力端子	51

リ

リード&オートインクリメント	41
リードボイス	13~16
リズム	18
リズムコントロール	49
リズムシーケンス	24
リズム入力端子	51
リズムメニュー	21
リトライ	32
リバーブ	17
リピート再生	40

レ

レジストレーションシフト	27
レジストレーションデータ	33
レジストレーションの記録	37
レジストレーションメモリー	25

ロ

録音	31
録音ボタン	31

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

このエレクトーンには保証書がついています。保証書は納入調整サービスの際に所定事項を記入して発行いたしますので、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

修理のご依頼

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ修理をお申し付けください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL.(011)512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL.(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL.(044)434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL.(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL.(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL.(06)6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL.(087)822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL.(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL.(092)472-2134

[本社]

カスタマーサービス部 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 TEL.(053)465-1158

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ヤマハ株式会社

北海道支店 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター
鍵盤営業課 TEL 011(512)6114

仙台支店 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル
鍵盤営業課 TEL 022(222)6025

東京支店 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
エレクトーン・クラビノーバ推進グループ TEL 03(5488)5463

名古屋支店 〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28
鍵盤営業課 TEL 052(201)5140

大阪支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館
エレクトーン・クラビノーバ推進グループ TEL 06(6252)2390

九州支店 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
鍵盤営業課 TEL 092(472)2153

PA・DMI事業部 〒430-8650 浜松市中沢町10-1
EKB 国内営業部営業第1グループ TEL 053(460)2191

*住所および電話番号は変更になる場合があります。

エレクトーンに関するあらゆる質問にお答えします。

エレクトーンインフォメーション

営業時間:月～金 10:00～12:00 13:00～17:00

フリーダイヤル  0120-186-808

インターネットホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/>



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。



この取扱説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用しています。



この取扱説明書は
エコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)
を使用しています。